

令和7年度 柏市小中学校教職員

研修事業の手引



柏市教育委員会

第2次柏市教育振興計画（令和3年度～令和7年度）

学校教育分野に関する方向性

未来につなぐ柏の教育

～学び続ける力の育成、多様性の尊重、安全・安心な学校づくり～

- ◆ 学ぶ意欲を育成する
- ◆ 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる
- ◆ 教職員の力量・学校の組織力を高める
- ◆ 地域・家庭とともにある学校をつくる

質の高い学校教育を実施することにより、子どもたちが未来の社会を生きる力の基礎を培うという思いから、基本方針を「未来につなぐ柏の教育」としました。

また、生涯にわたり学び続ける基礎を培うための学ぶ意欲の育成、多様性を尊重する意識の醸成を、学校教育分野に関する方向性としており、これらの力を身に付けさせるために「教職員」「地域・家庭」による「安全・安心な学校づくり」が基盤となることから、「～学び続ける力の育成、多様性の尊重、安全・安心な学校づくり～」としました。

目 次

下線部をクリックするとそのページへ移動できます。

<u>柏市教職員人材育成指針</u>	1
<u>柏市教職員人材育成指標</u>	2
<u>柏市学校管理職人材育成指針</u>	3
<u>柏市学校管理職人材育成指標</u>	4
<u>柏市学校管理職人材育成指標評価シート（校長）</u>	5
<u>柏市学校管理職人材育成指標評価シート（教頭・副校長）</u>	6
<u>基本のチェックリスト</u>	7
<u>授業の改善チェックリスト</u>	8
I 柏市小中学校教職員研修事業について	9
II 研修事業の申し込み・提出物・連絡等について	
○ <u>研修履歴システム Plant による研修申し込みについて</u>	14
○ <u>各研修要項及び様式のダウンロードについて</u>	15
○ <u>研修履歴システム Plant を使用した各研修様式のアップロード（提出）について</u>	15
○ <u>研修への欠席及び中止等の連絡について</u>	15
III 悉皆研修（年次研修・新任時研修）	16
○ <u>初任者研修</u>	17
○ <u>2年目研修</u>	28
○ <u>3年目研修</u>	32
○ <u>中堅教諭等資質向上研修 I</u>	35
○ <u>中堅教諭等資質向上研修 plus</u>	40
○ <u>専門研修</u>	41
○ <u>新任校長研修</u>	42
○ <u>2年目校長研修</u>	44
○ <u>新任教頭研修</u>	45
○ <u>新任教務主任研修</u>	47
○ <u>特別支援教育新任担当教員等研修</u>	48
IV 悉皆研修（職務研修①・②）	52
学校教育課・教職員課・指導課・児童生徒課・学校給食課・教育研究所主催	
V 特別研修	87
<u>夏季研修講座</u> ・ <u>夏季情報活用研修講座</u> ・ <u>外国語指導スキルアップ講座</u>	
VI 希望研修	95
<u>リーダーセミナー</u> ・ <u>体力向上、部活動指導研修</u>	
VII 各研修様式一覧	98
VIII 共通様式一覧	100

目標：信頼される質の高い教員の育成を目指して

「千葉県の教育の振興に関する大綱」及び第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」より

柏市の目指す教職員の姿：教育者としての愛情と使命感をもち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員						
六つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージI 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上	ステージII 【発展期】 (学年経営、校務分掌主任等のミドルリーダー) ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上	ステージIII 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ指導・助言) チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上
教職に必要な素养	使命感・責任感 教育的愛情・高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守 A1	教育の意識 教員の役割 教員への尊敬 譲り受けられる教員等	○人間性豊かで、 教育愛と使命感に 満ちた教員	教員としての職務に対する使命感、責任感、教育的愛情を持ち、教職に対する強い情熱をもっている。また、教育公務員として高い倫理観と不祥事根絶への意識を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。		
	社会性 コミュニケーション能力 A2	広い視野 学び続ける意欲 コミュニケーション能力		豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。		
	社会の変化への対応 広い視野 A3	学び続ける意欲 コミュニケーション能力		教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ総合的に新しい知識・技能を学び続けている。		
	教職に関する教養 A4	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・総合的知識等についての基礎的知識（意識）		教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に問い合わせ情報を収集している。		
	教科等についての専門性 B5	学習指導等要領、幼稚園教育要領等に示された教科領域の目標、ねらい、内容		各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、資質能力を育むために必要な各教科等の専門的知識を身に付けている。		
実践指導等に関する力	授業実践 指導技術 B6	基礎的な学習指導法や発達や学びの過程 指導技術 具体的な授業設計や保育実践する方法		子供の心の発達の過程や特性を理解し、一人一人の状況を踏まえながら、子供との信頼関係を構築するとともに、可能性や活躍の場を引き出す集団作り（学級経営）をしている。		
	子供の発達過程や特徴の理解 と信頼関係の構築 主従指導 C7	子供の心身の発達の過程、特徴 主従指導等の意義及び原理、主従指導の進め方	○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員	教育相談の意義や理論を理解し、子供一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、園・学校生活への適応や人格の成長への支援をしている。		
	教育相談 個別指導 C8	学校における教育相談の意義及び原理 教育相談を進める際に必要な基礎的知識		人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、子供に対し適切に指導している。		
	人権教育の推進 主従指導等上の課題への対応 C9	人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方		キャリア教育や進路指導の意義を理解するとともに、県の産業構造等を把握し、地域・社会や産業界と連携しながら、園・学校の教育活動全体を通じて、子供が自分らしい生き方を実現するための力を育成している。		
	キャリア教育 進路指導 C10	普教及び療育、指導の在り方等		カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に園・学校の実態に応じた改善をしている。		
チーム学校を支える協賛能力	教育課程の管理・運用 D11	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行なうことの意義	○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員	カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に園・学校の実態に応じた改善をしている。		
	校務分掌と連携・調整 D12	指導以外の校務を含めた教員の職責の全把握		学校組織マネジメントの意義を理解した上で、限られた時間や資源を効率的に用いつつ、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し組織の中で自らの役割を果たしている。		
	家庭や地域、関係機関等との連携・協働 D13	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校の担い役割が拡大する中、内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性		家庭や地域、就学前から高等教育までを通じた異校種間及びその他の関係機関との連携・協働に努め、地域とともにある学校づくりに取り組んでいる。		
	研修（研究）体制 D14	研究と修業の必要性 資質能力の向上の必要性		研修履歴の記録を基に、自らの学びを振り返り、研修（研究）における成果と課題を把握するとともに、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修業に努めている。また、校内研修を教員同士の学び合いの機会として捉え、積極的に参加している。		
	特別な配慮や支援が必要とする子供の理解 E15	特別な配慮や支援が必要とする子供の特性及び発達の理解		特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、きめ細かく支援するために、子供一人一人の教育的ニーズを把握している。		
ICTによる教員データの利活用	学習上・生活上の支援 E16	学習上・生活上の支援に関する知識や方法		他の教職員、保護者、関係機関等と連携しながら、特別な配慮や支援を必要とする子供の教育課程の編成について適切に対応し、誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現を図っている。また、状況に応じた生活上の支援を工夫している。		
	学習指導に関するICT利活用 F17	情報活用能力の育成 ICTを活用した教科の指導法		学校におけるICT利活用の意義を理解し、学習指導等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための授業を実践している。		
	生徒指導に関するICT利活用 F18	ICTを活用した子供の支援		教育相談、いじめや不登校等の対応、子供の特性に応じた支援等にICT（遠隔・オンライン教育を含む）を効果的に活用している。		
	ICTによる校務効率化 F19	情報機器の操作 情報機器の活用に関する意識及び方法 ICTを活用した校務の推進		ICTは学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育データの蓄積・分析・利活用等を通して、校務の効率化を進めている。		

柏市学校管理職人材育成指針

I 学校管理職人材育成指針策定の趣旨

- グローバル化や情報化が急速に進展し、学校への期待や課題がありますます多様化・複雑化している。
- 学校や地域の現状や課題を総合的にとらえ、目標や経営方針を明確にして、課題解決に向けた具体的な道筋を立てる力や学校経営を検証し、更なる改善の力が求められる。
- 教職員の大変採用・大変退職回数に、毎年多くの昇任者が新たに管理職として学校経営にあたる状況があり、管理職の若年化が見込まれる。
- ⇒意図的・計画的に管理職の人材育成を行うため「柏市学校管理職人材育成指針」を策定する。

II 学校管理職人材育成を取り巻く現状と課題

- ＜課題＞
- ◆社会や地域、学校を取り巻く状況把握
 - ◆地盤と連携
 - ◆校舎共用ビジョンの形成と浸透
 - ◆臨時開発などシステムづくり
 - ◆管理職候補者の人材育成
 - ◆教育資源の活用能力
 - ◆倫理観、規範意識、リーダーシップ

III 学校管理職に求める資質・能力

- ＜資質・能力＞
- | | | |
|-------------------------|--------------------|----------------------|
| △ A 学校を取り巻く社会的・文化的要因の理解 | △ B 学校の組織設計と地域協働 | △ C 教育資源の効率化をリードする |
| △ D 教育活動の組織化をリードする | △ E 学校のリスマネジメントの運営 | △ F 慶祝規範とリーダーシップ |
| △ G 「我が「リーダーシップ」の実現」 | △ H 「ビジョンの作成」と検証 | △ I 「ビジョン実現のための条件整備】 |
| △ J 「学校を取巻く現状と課題」 | △ K 「教育資源の効率的な活用 | △ L 「社会的・文化的要因の理解 |

IV 柏市の目指す学校管理職の姿

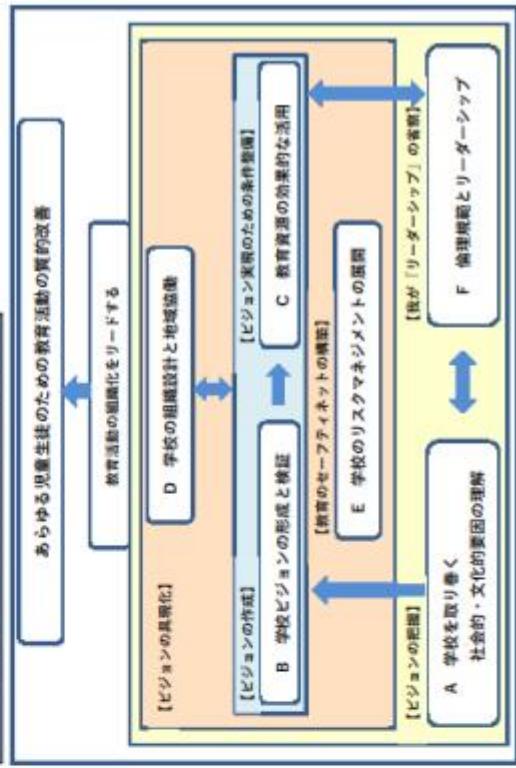
柏市の教育者としての高い機見と広い視野を持ち、経営者として優れたリーダーシップとカリキュラムを基盤とした組織マネジメントを発揮し、組織的、機能的な学校経営を推進する。

V 学校管理職人材育成基本方針

- 1 「柏市学校管理職人材育成指針」に基づいて、意図的・計画的な人材育成を図る。
- 2 職務に応じて資質能力の向上を図る。
- 3 社会の急激な変化を見通した「学校改善できる管理職」の育成を図る。
- 4 「校外研修」と「自己研磨」を相互に周知させ、人材育成を図る。

VI 学校管理職に求められる力量の構造について

- ＜これまでの学校管理職人材育成＞
- 柏市として
- ◆求められる管理職像（資質能力）を明示
 - ◆取り組むべき人材育成の方向性が不明確
 - ◆校外研修等はあるが、能力開発の内容や方法が個人に委ねられた状況
 - ◆管理職に就いてから実務経験や先輩管理職からの紹介



柏市学校管理職人材育成指標

学年 の 段 階	資質・能力の基準	ステージ	学校経営前期 (教頭・副校長)	学校経営後期 (校長)
柏市 の教育者としての高い識見と広い視野をもち、経営者として優れたリーダーシップとカリキュラムを基盤とした組織マネジメント力を発揮し、組織的・機動的な学校経営を推進する。	A 学校を取り巻く社会的・文化的要因の理解	ミッションの把握		
		1 教育思想についての理解	次々に提起され、刻々と変化する教育界の状況を捉え、国内外の教育思想・考え方について、その背景や全体像、特質をとらえた上で、自らの教育方針を定めることができる。	
		2 児童生徒の成長・発達についての理解	あらゆる児童生徒の成長・発達は、一人一人の個性を伸長しつつ社会性を促すことを目指すものであること、特別な支援を必要とする場合は、合理的な配慮を行うことが求められることを理解し、自らの教育方針を定めることができる。	
		3 憲法・教育基本法等に基づく学校教育のあり方についての理解	日本の公教育システム全体について十分に理解し、日本国憲法、教育基本法等の関係法令等に基づいて自校の教育方針を定めることができる。	
		4 国内外の社会・経済・文化的動向を踏まえた学校教育のあり方についての理解	国内外の社会・経済・政治・文化的動向に対する十分な理解に基づいて、現代の学校教育のあり方について深い洞察と時代の読み取りができる。中長期的な視野のもとで自校の教育方針を定めることができる。	
		5 千葉県・柏市の社会・経済・政治・文化的動向を踏まえた柏市立学校のあり方についての理解	柏市並びに学校の立地す地域の社会・経済・政治・文化的状況を十分に読み取り、地域の将来を見通すことができる広い視野を持ち、この先の展望のもとで自校の教育方針を定めることができる。	
		6 調査	様々な情報源を活用し、深入り調査のうえ時代を読み取り、それに基づいた中長期的な視野で、自校に通う児童生徒の家庭や地域の社会環境を把握し、自校の教育方針を定めることができる。	
		7 柏市における家庭・地域社会との連携・協働の必要性についての理解	学校と保護者、地域住民の現状を適確に把握し、連携・協働を強化する自校の教育方針を定めることができる。	
		8 家庭・地域社会に対するミッションの設定と発信	地域社会の次代を読み取る深い洞察と諒見に基づき、家庭・地域社会に対してミッションを定め、広く発信することができる。	
		9 学校におけるマネジメントの構造と過程についての理解	学校におけるマネジメントの構造と過程を理解し、教育の質を高める学校ビジョンを構想することができる。	
	B 学校ビジョンの形成と検証	ビジョンの作成		
		1 学校間連携の推進	同一中学校区の幼保ごとに義務教育9年間をつないで、子どもの資質・能力の育成を図ることを目的に、課題の共有、各校の経営理念及び経営目標並びにカリキュラム編成について、連絡・調整する中学校区のくみを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	同一中学校区の幼保ごとに義務教育9年間をつないで、子どもの資質・能力の育成を図ることを目的に、客観データに基づき、課題を見定め、課題解決策を決定し、実行できる。
		2 情報の収集と現状の把握	地域環境、保護者、スクールヒスティー、カリキュラム、組織等に関する情報を組織的に収集する校内のくみを整え、組織間でデータ共有し、必要な手立てを講ずることができる。	学校の現状を把握分析するため、収集したデータ(地域環境、保護者、スクールヒスティー等)を基に学校ビジョンの適切性を判断し、必要な修正ができる。
		3 関係者を巻き込んだビジョンの形成	学校ビジョン形成のため、すべての教職員・保護者・その他の学校関係者との情報伝達・意見交換が図られるが、我が校のくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	すべての教職員・保護者・その他の学校関係者との情報伝達や意見交換に基づき、納得されるビジュアルを決定し、具現化を構想できる。
		4 学校の意思形成システムの構築	学校ビジョンに基づき、課題解決に向けて、教職員の企画立案を促し、多面的な検討ができる意思形成システムを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	学校ビジョンに基づき、課題解決に向けた企画立案・検討・決定が一連の流れによって働く、客観的データに基づき、意思形成システムの適切性を判断し、必要な修正ができる。
		5 家庭・地域社会と協働する内容・方法の実行と検証	地域連携を視野に入れたりゅうめん開発をするなどにより、授業を通して児童生徒が地域の一員として、地域貢献度を高めることができているどうかを検証するくみをつくり、必要な手立てを講ずることができる。	地域連携を視野に入れたりゅうめんによって、地域の一員として学校が応分の責任を果たせているかどうかを、客観的データに基づき判断し、必要な修正ができる。
		6 学校ビジョンの浸透	学校ビジョンに基づき、カリキュラム、学年・年級組織並びに他の分掌組織の年間計画等が作成されるよう組織間の調整ができる、必要な手立てを講ずることができる。	カリキュラム、学年・学年組織並びに他の分掌組織の年間計画等が学校ビジョンに沿ってはいるかどうかを、客観的データに基づき判断し、必要な修正ができる。
		7 学校ビジョンの検証と見直し	適切な学校評価計画を組織的に立案、検討ができるくみをつくり、教職員・保護者・地域の学校評価計画との結果を比較して見直しできる。	学校ビジョンの適切性を、学校評価結果に基づき判断し、改善策を決定し、実行できる。
	C 教育資源の効果的な活用	ビジョン実現のための条件整備		
		1 OJTシステムの構築と稼働	日々の教育活動が反復的に積み重ねられていくよう、教職員に働きかけていくとともに、組織的な取り組みで展開されるくみをつくり、必要な手立てを講ずることができる。	教育活動や学年・分掌活動が反復的に取り組まれていくための方策を決定し、実行できる。
		2 設備・備品の調整と点検	学校組織において、教材・教員の充足度、教材・教員の管理、施設・設備の整備の方針などを整し、計画し、組織としてコストパフォーマンスを高め、成果を見取るくみを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	教育内容の質向上、業務改善につながるコスト意識を育てるため、教材・教員の充足度、教材・教員の管理、施設・設備の整備の方法などの情報に基づき、課題・執行計画を決定し、実行できるとともに、教育委員会に対して必要な設備・備品の整備の要求ができる。
		3 預算の調達と適正執行	業務改善及び教育の質向上に向けた事務職員と共に、学校予算情報を校内に公開し、学校経営目標に沿って予算策定と校内の組織的執行体制を構築し、必要な手立てを講ずることができる。	業務改善を推進し、予算編成方針を教職員に周知し、適正な運用を図るとともに、教育委員会に対して客観的なデータに基づき、必要な予算の要求ができる。
		4 教育情報の蓄積と整備	児童生徒の学校生活や学習の実態、教職員のプロフィールや勤怠、保護者や地域の人々の情報などについての情報を収集、蓄積するくみを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	蓄積された情報から、学校ビジョンの実現に必要なものを取扱い選択し、ビジョン構築に反映できる。
		5 タイムマネジメントの確立と調整	学校経営の重心に基づいて分掌間の仕事量を調整し、勤務時間の管理、時間の運用などをそれなりの方向性や指針を教職員に周知し、その成果を見取ることができる。	学校経営の重心に基づいて仕事量の調整をし、時間の配分、授業時数の配当、日程表の作成、学年行事計画、勤務時間の管理、時間の運用などそれなりの方向性や指針を定し、実行できる。
	D 学校の組織設計と地域協働	6 地域資源の把握とネットワークづくり	地域にある様々な教育資源をカリキュラムに活用できるくみをつくり、必要な手立てを講ずることができる。	地域に開かれたカリキュラムづくりの必要性を、教職員や地域に積極的に伝え、カリキュラムマネジメントを開拓できる。
		1 校務分掌システム(各種委員会)の確立と調整	学校ビジョン達成に向けて最適な分掌組織を整え、その役割と機能を明確にし、活動状況や結果をデータとして収集・改善するくみを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	学校ビジョンの達成に向けて効率的な学校組織活動が実現されているかについて客観的なデータに基づき判断し、必要な修正ができるとともに教育委員会に対し、人の配置を要求できる。
		2 多様な人々・機関との適切な関係づくり	学校に開かれたカリキュラムづくりに必要な手立てを講ずることができる。	学校に開かれた多様な人々や機関に対する慕倣や公正の意識を持ち、主徳的な関わりを得て、地域協働に基づきカリキュラム開拓を展開できる。
		3 カリキュラム開発と評価システムづくり	学校ビジョンの達成のため、児童生徒の実態と学習指導要領に基づき適切なカリキュラムの開発、実践を通じて評価、単元評価、単元評価、カリキュラム評価を学校評価へつなぐ評価システムを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	学校ビジョンの達成をめざすカリキュラムマネジメントが機能するよう、適切な学校評価を行い、改善策を決定し、実行できる。
		4 主体的な学習を促す環境の整備と点検	あらゆる児童生徒が安心して学習意欲と主体性を発揮し、促進できるよう学習環境(施設・掲示板・教室等)を設計し、学年・分掌間の連携調整を行い、必要な手立てを講ずることができる。	学校環境(施設・掲示板・教室等)が児童生徒の主体的な学習を促すものとなっているかどうかを客観的なデータに基づき判断し、改善策を決定し、実行できる。
		5 教職員のキャリア・職務能力の把握と支援	一人一人の教職員のキャリア・職務能力の向上のため、課題意識や将来展望について、自己申告書、日常の察察や相談、柏市教職員人材育成指標及びその他のデータに基づいて把握し、支援できる。	一人一人の教職員のキャリア・職務能力を、自己申告書、教頭からの報告、柏市教職員人材育成指標、他のデータに基づいて把握し、各自の課題意識や将来展望について十分理解し、支援できる。
		6 教職員の内発性に基づく公開授業システムづくり	一人一人の教職員が自らの教育活動を省察する中で生じた課題を、学校に共通する課題に再設定するくみをつくり、必要な手立てを講じることができる。	学校として共通に設定した課題を解決する校内研究を組織的に展開するための校内研究曲線を定し、実行できる。
		7 教職員の同僚性に基づく公開授業システムづくり	校内研修において教職員が相互交流することを通して授業実践を協力して省察し、改善する公開授業のくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	カリキュラムを基礎として組織的に授業改善を図ることを目指して、互いに交流して授業評議を進める公開授業計画を決定し、実行できる。
E 学校のリスクマネジメントの展開	教育セーフティーネットの構築	1 教職員と児童生徒の安全・衛生・健康の確保	養護教諭、安全主任等のほかに産業医・学校医・学校歯科医・学校薬剤師、警察署、消防署等と連携をとりながら学校に所在する保健機関・施設の安全確保する団体、地域住民との連携・調整するくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	教職員、児童生徒の安全・衛生・健康を推進するため、学校内外に存在する関係者を結びつけた学校保健安全計画を策定し、実行できる。
		2 垂下校の安全確保	保護者と連携をとりながら学校に所在する保健機関・施設の安全確保する団体、地域住民との連携・調整するくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	カリキュラムを基礎として組織的に授業改善を図ることを目指して、互いに交流して授業評議を進める公開授業計画を決定し、実行できる。
		3 いじめ・不登校等の予防と対応	さまざまな情報源を収集し、データを分析して、組織的に見対・防止・対応できるくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	いじめ・不登校の未然防止と対応について、発見・防止・対応を組織的に行い、危機対応においては、的確な判断に基づき対応策を判断、実行、収束ができる。
	F ルーリング規範とリーダーシップ	4 学校事故の予防と対応	安全管理が適切に実行されるよう、組織的・計画的な対応を促すとともに、校内の危険箇所の日常的な点検・補修ができる。	安全管理内部改修並びに事務発生時ににおける対応要項の開発、日時の訓練を組織的に行い、検証とともに、学校事故発生時は迅速に対応し、再発防止策を決定し、実行できる。
		5 苦情の予防と対応	保護者、学校関係者からの苦情が発生しないよう、教職員に教育的配慮を促すとともに、苦情に迅速に対応し、校内に報告できる。	保護者、学校関係者からの苦情が発生しないよう、教職員に教育的配慮を促すとともに、苦情に迅速に対応し、再発防止策を決定し、実行できる。
		6 自然災害への備えと対応	児童生徒に必要な防災教育を組織的に行うよう教職員に促すとともに、「危険発生時対応要領」に基づいて迅速に対応できる。	学校及び地域の実情に応じて危険発生時において教職員が取るべき措置の具体的な手順を定めた「危険発生時対応要領」を作成し、災害発生時には、迅速な判断対応策を決定し、実行できる。
		1 学校の責任者としての職業倫理	高い使命感と公正・公平の意識をもって職務にあたり、学校の責任者として自らの言動や行為のあり方を監視することを通じて、職業倫理、職能成長に努めた結果を自ら申告し職務能力を発揮しシート並びに「職業倫理・学校運営計画」に記述できる。	学校倫理行動のあり方を監視することを通じて、職業倫理、職能成長に努めた結果を自ら申告し職務能力を発揮しシート並びに「職業倫理・学校運営計画」に記述できる。
		2 説得力をもった明確な意思の伝達	学校ビジョン実現に向けてカリキュラム、施策等を様々な機会を利用して説得力を持つて教職員、保護者、地域社会に伝えることができる。	学校ビジョン実現に向けて、校長自身の意思をあらわす立場の人々に対して説得力を持つて明確に伝えることができ、その結果を見取ることができます。
		3 学校関係者からの意見・要望の傾聴	教職員、保護者、地域・関係機関等からの異なる価値観、思想、文化などを認め傾聴しつつ、自分の考えを生み出すことができる。	学校の最高責任者として多様な価値観、思想、文化などを認めて傾聴し、施策や対応策を決定し、実行できる。
		4 法令遵守	法令遵守に関して自ら率先して行動するとともに、法令遵守に関する情報を基に教職員に指導し、モラルアップ委員会などのくみを構築し、必要な手立てを講じることができる。	法令遵守に関して自らが高い意識を持ち、模範となるように行動するとともに、教職員に安全配慮義務違反や不法行為につながらないよう注意を促し、不祥事をゼロにするための施策や対応策を決定し、実行できる。

柏市学校管理職人材育成指標評価シート【校長】

管理の実績	資質・能力の基準	ステージ	学校経営後期(校長)	自己評価
柏市の教育者としての高い識見と広い視野をもち、経営者として優れたリーダーシップとカリキュラムを基盤とした組織マネジメント力を発揮し、組織的、機動的な学校経営を推進する。	ミッションの把握	1 教育思想についての理解	次々に提起され、刻々と変化する教育界の状況を捉え、国内外の教育思想・考え方について、その背景や全体像、特質をとらえた上で、自らの教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 児童生徒の成長・発達についての理解	あらゆる児童生徒の成長・発達は、一人一人の個性を伸長しつつ社会化を促すことを目指すものであること、特別な支援を必要とする場合は、合理的な配慮を行うことが求められることを理解し、自らの教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 宪法・教育基本法等に基づく学校教育のあり方についての理解	日本の公教育システム全体について十分に理解し、日本国憲法、教育基本法等の関係法令等に基づいて自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 国内外の社会・経済・文化的動向を踏まえた学校教育のあり方についての理解	国内外の社会・経済・政治・文化的動向に対する十分な理解に基づいて、現代の学校教育のあり方について深い洞察と時代の読み取りができる、中長期的な視野のもとで自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 千葉県・柏市の社会・経済・政治・文化的動向を踏まえた柏市立学校のあり方についての理解	柏市並びに学校の立地する地域の社会・経済・政治・文化的状況を十分に読み取り、地域の将来を見通すことができる広い視野を持ち、この先の展望のもとで自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 柏市における家庭・地域社会の現状の把握と近未来の予測	様々な情報源を活用し、深い洞察のもと時代を読み取り、それにに基づいた中長期的な視野で、自校に通う児童生徒の家庭や地域の社会環境を把握し、自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 柏市における家庭・地域社会との連携・協働の必要性についての理解	学校と保護者、地域住民の現状を適確に把握し、連携・協働を強化する自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		8 家庭・地域社会に対するミッションの設定と発信	地域社会の次代を読み取る深い洞察と識見に基づき、家庭・地域社会に対してミッションを定め、広く発信することができる。	4 - 3 - 2 - 1
		9 学校におけるマネジメントのあり方についての理解	学校におけるマネジメントの構造と過程を理解し、教育の質を高める学校ビジョンを構想することができる。	4 - 3 - 2 - 1
	ビジョンの作成	1 学校間連携の推進	同一中学校区の幼保こども園とともに義務教育9年間をつないで、子どもの資質・能力の育成を図ることを目的に、客観的データに基づき、課題を見定め、課題解決策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 情報の収集と現状の把握	学校の現状を把握分析するため、収集したデータ(地域環境、保護者、スクールヒストリー等)を基に学校ビジョンの適切性を判断し、必要な修正ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 関係者を巻き込んだビジョンの形成	すべての教職員・保護者・その他の学校関係者との情報伝達や意見交換に基づき、納得が得られるビジョンを決定し、具現化を構想できる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 学校の意思形成システムの構築	学校ビジョンに基づき、課題解決に向けた企画立案・検討・決定が一連の流れとして働くよう、客観的データに基づき、意思形成システムの適切性を判断し、必要な修正ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 家庭・地域社会と協働する内容・方法の実行と検証	地域連携を視野に入れたカリキュラムによって、地域の一員として学校が応分の責任を果たせているかどうかを、客観的データに基づき判断し、必要な修正ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 学校ビジョンの浸透	カリキュラム、学年・学級組織並びにその他の分掌組織の年間計画等が学校ビジョンに沿っているかどうかを、客観的データに基づき判断し、必要な修正ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 学校ビジョンの検証と見直し	学校ビジョンの適切性を、学校評価結果に基づき判断し、改善策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		8 ビジョン実現のための条件整備	教育活動や学年・分掌活動が反省的に取り組まれていくための方策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
C 教育資源の効果的な活用	教育資源の効果的な活用	2 設備・備品の調整と点検	教育内容の質向上、業務改善につながるコスト意識を育てるため、教材・教具の充足度、教材・教具の管理、施設・設備の整備の方法などの情報を基に、調査、執行計画を決定し、実行できるとともに教育委員会に対して必要な設備・備品の整備の要求ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 予算の調達と適正執行	業務改革を推進し、予算編成方針を教職員に周知し、適正な運用を図るとともに、教育委員会に対して客観的なデータに基づき、必要な予算の要求ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 教育情報の蓄積と整備	蓄積された情報から、学校ビジョンの実現に必要なものを取捨選択し、ビジョン構築に反映できる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 タイムマネジメントの確立と調整	学校経営の重点やカリキュラムに基づいて仕事量の調整をし、時間の配分、授業時数の配当、日課表の作成、学校行事計画、勤務時間の管理、時間の運用などそれぞれの方向性や指針を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 地域資源の把握とネットワークづくり	地域に開かれたカリキュラムづくりの必要性を、教職員や地域に積極的に伝え、カリキュラムマネジメントを展開できる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 ビジョンの具現化	学校ビジョンの達成に向けて効率的な学校組織活動が展開されているかについて客観的データに基づき判断し、必要な修正ができるとともに教育委員会に対し、人的配置を要する。	4 - 3 - 2 - 1
	D 学校の組織設計と地域協働	2 多様な人々・機関との適切な関係づくり	学校に關心を持つ多様な人々や機関に対して尊敬と公正の意識を持ち、主体的な関わりを通して、地域協働に基づきカリキュラム開発を展開できる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 カリキュラム開発と評価システムづくり	学校ビジョンの達成をめざすカリキュラムマネジメントが機能するよう、適切な学校評価を行い、改善策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
E 教育セーフティーネットの構築	E 学校のリスクマネジメントの展開	4 主体的な学習を促す環境の整備と点検	学習環境(施設・掲示板・教室等)が児童生徒の主体的な学習を促すものとなっているかどうかを客観的なデータに基づき判断し、改善策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 教職員のキャリア・職務能力の把握と支援	一人一人の教職員のキャリア・職務能力を、自己申告書、教頭からの報告、柏市教職員人材育成指標、その他のデータに基づいて把握し、各自の課題意識や将来展望について十分理解し、支援できる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 教職員の内発性に基づく校内研究システムづくり	学校として共通に設定した課題を解決する校内研究を組織的に展開するための校内研究計画を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 教職員の同僚性に基づく公開授業システムづくり	カリキュラムを基盤として組織的に授業改善を図ることを目指して、互いに交流して授業評価を進める公開授業計画を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		1 教職員と児童生徒の安全・衛生・健康の確保	教職員、児童生徒の安全・衛生・健康を推進するため、学校内外に存在する関係者を結びつけた学校保健安全計画を策定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 登下校の安全確保	通学路の安全を確保するために必要な施策や対応策を策定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
	F 倫理規範とリーダーシップ	3 いじめ・不登校等の予防と対応	いじめ・不登校の未然防止と対応について、発見・防止・対応を組織的に行い、危機対応においては、的確な情報に基づき対応策を判断、実行、収束ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 学校事故の予防と対応	安全教育内容の改善並びに事故発生時における対策要項の開発、日頃の訓練を組織的に行い、検証するとともに、学校事故発生時は迅速に対応し、再発防止策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 苦情の予防と対応	保護者、学校関係者からの苦情が発生しないよう、教職員に教育的配慮を促すとともに、苦情に迅速に対応し、再発防止策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 自然災害への備えと対応	学校及び地域の実情に応じて危険発生時において学校職員が取るべき措置の具体的な内容及び手順を定めた「危険等発生時対処要綱」を作成し、災害発生時には、迅速な判断、対応策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		1 我が「リーダーシップ」の省察	高い使命感と公正、公平の意識をもって職務にあたり、学校の責任者として自らの言動や行為のありようを絶えず省察することを通じて、職業倫理、職能成長に努めた結果を目標申告や職務能力発揮シート並びにビジョンシート(学校経営計画)に記述できる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 説得力をもった明確な意思の伝達	学校ビジョン具現化に向けて、校長自身の意思をあらわす立場の人々に対して説得力を持って明確に伝えることができ、その結果を見取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
F 倫理規範とリーダーシップ	G 学校関係者からの意見・要望の傾聴	3 学校関係者からの意見・要望の傾聴	学校の最高責任者として多様な価値観、思想、文化などを認めて傾聴し、施策や対応策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 法令遵守	法令遵守に関して自らが高い意識を持ち、模範となるように行動するとともに、教職員に安全配慮義務違反や不法行為につながらないよう注意を促し、不祥事をゼロにするための施策や対応策を決定し、実行できる。	4 - 3 - 2 - 1

柏市学校管理職人材育成指標評価シート【教頭・副校長】

管 理 基 準	資質・能力の基準	ステージ	学校経営前期(教頭・副校長)	自己評価
柏市 の 教 育 者 と し て の 高 い 識 見 と 広 い 視 野 を も ち 、 経 営 者 と し て 優 れ た リ ー ダ ー シ ッ プ と カ リ キ ュ ラ ム を 基 盤 と し た 組 織 マ ネ ジ メ ン ト 力 を 発 揮 し 、 組 織 的 、 機 動 的 な 学 校 經 営 を 推 進 す る 。	A 学校を取り巻く社会的・文化的要因の理解	1 教育思想についての理解	次々に提起され、刻々と変化する教育界の状況を捉え、国内外の教育思想・考え方について、その背景や全体像、特質をとらえた上で、自らの教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 児童生徒の成長・発達についての理解	あらゆる児童生徒の成長・発達は、一人一人の個性を伸長しつつ社会文化を促すことを目指すものであること、特別な支援を必要とする場合は、合理的な配慮を行うことが求められる事を理解し、自らの教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 憲法・教育基本法等に基づく学校教育のあり方についての理解	日本の公教育システム全体について十分に理解し、日本国憲法、教育基本法等の関係法令等に基づいて自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		4 國内外の社会・経済・政治的な動向を踏まえた学校教育のあり方についての理解	國内外の社会・経済・政治・文化的動向に対する十分な理解に基づいて、現代の学校教育のあり方について深い洞察と時代の読み取りができる、中長期的な視野のもとで自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 千葉県・柏市の社会・経済・政治・文化的動向を踏まえた柏市立学校のあり方についての理解	柏市並びに学校の立地する地域の社会・経済・政治・文化的な状況を十分に読み取り、地域の将来を見通すことができる広い視野を持ち、この先の展望のもとで自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 柏市における家庭・地域社会の現状の把握と近未来の予測	様々な情報源を活用し、深い洞察のもと時代を読み取り、それに基づいた中長期的な視野で、自校に通う児童生徒の家庭や地域の社会環境を把握し、自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 柏市における家庭・地域社会との連携・協働の必要性についての理解	学校と保護者、地域住民の現状を適確に把握し、連携・協働を強化する自校の教育方針を定めることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		8 家庭・地域社会に対するミッションの設定と発信	地域社会の次代を読み取る深い洞察と諒見に基づき、家庭・地域社会に対してミッションを定め、広く発信することができる。	4 - 3 - 2 - 1
		9 学校におけるマネジメントのあり方についての理解	学校におけるマネジメントの構造と過程を理解し、教育の質を高める学校ビジョンを構想することができます。	4 - 3 - 2 - 1
	B 学校ビジョンの形成と検証	1 学校間連携の推進	同一中学校区の幼保ごとに義務教育9年間をつないで、子どもの資質・能力の育成を図ることを目的に、課題の共有、各校の経営理念及び経営目標並びにカリキュラム編成について、連絡・調整する中学校区のしくみを構築し、必要な手立てを講ずることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		2 情報の収集と現状の把握	地域環境、保護者、スクールヒストリー、カリキュラム、組織等に関する情報を組織的に収集する校内のしくみを整え、組織間でデータを共有し、必要な手立てで講ずることができる。	4 - 3 - 2 - 1
		3 関係者を巻き込んだビジョンの形成	学校ビジョン形成のため、すべての教職員・保護者・その他の学校関係者との情報伝達や意見交換ができる「我が校のしくみ」を構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		4 学校の意思形成システムの構築	学校ビジョンに基づき、課題解決に向けて、教職員の企画立案を促し、多面的な検討ができる。意思形成システムを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		5 家庭・地域社会と協働する内容・方法の実行と検証	地域連携を視野に入れたカリキュラム開発をすることにより、授業を通じて児童生徒が地域の一員として、地域貢献度を高めることができているかどうかを検証するしくみをつくり、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		6 学校ビジョンの浸透	学校ビジョンに基づき、カリキュラム、学年・学級組織並びにその他の分掌組織の年間計画等が作成されるよう組織間の調整ができる、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		7 学校ビジョンの検証と見直し	適切な学校評価計画を組織的に立案、検討できるしくみをつくり、教職員・保護者、地域に学校評価計画とその結果を適切に公表できる。	4 - 3 - 2 - 1
		8 ビジョン実現のための条件整備	日々の教育活動が反省的に積み重ねられていくよう、教職員に働きかけていくとともに、組織的な取り組みが展開されるしくみをつくり、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
C 教育資源の効果的な活用	C 教育資源の効果的な活用	2 設備・備品の調整と点検	学校組織において、教材・教具の充足度、教材・教具の管理、施設・設備の整備の方法などを調整、計画し、組織としてコストパフォーマンスを高め、成果を見取るしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		3 予算の調達と適正執行	業務改善及び教育の質向上に向けて事務職員と共に、学校予算情報を校内で公開し、学校経営目標に沿った予算調達と校内の組織的執行体制を構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		4 教育情報の蓄積と整備	児童生徒の学校生活や学習の実態、教職員のプロフィールや勤務、保護者や地域の人々の情報などについての情報を収集、蓄積するしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		5 タイムマネジメントの確立と調整	学校経営の重点に基づいて分掌間の仕事量を調整し、勤務時間の管理、時間の運用などそれぞれの方向性や指針を教職員に周知し、その成果を見取ることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		6 地域資源の把握とネットワークづくり	地域にある様々な教育資源をカリキュラムに活用できるしくみをつくり、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		7 ビジョンの具現化	学校ビジョン達成に向けて、最適な分掌組織を整え、その後割り機能を明確にし、活動状況や結果をデータとして収集・改善するしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		8 校務分掌システム(各種委員会)の確立と調整	学校に開かれたカリキュラムづくりに必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
D 学校の組織設計と地域協働	D 学校の組織設計と地域協働	2 多様な人々・機関との適切な関係づくり	学校に開かれたカリキュラムづくりに必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		3 カリキュラム開発と評価システムづくり	学校ビジョンの達成のため、児童生徒の実態と学習指導要領に基づき適切なカリキュラムの開発、実践を踏み学習評価、授業評価、単元評価、カリキュラム評価を学校評価へとつなぐ評価システムを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		4 主体的な学習を促す環境の整備と点検	あらゆる児童生徒が安心して高い学習意欲と主体性を発揮し、促進できるよう学習環境(施設・掲示板・教室等)を設計し、学年、分掌間の連携調整を行い、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		5 教職員のキャリア・職務能力の把握と支援	一人一人の教職員のキャリア・職務能力の向上のため、課題意識や将来展望について、自己申告書、日常の観察や相談、市教職員人材育成指標及びそのデータに基づいて把握し、支援できる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 教職員の内発性に基づく校内研究システムづくり	一人一人の教職員が自らの教育活動を省察する中で生じた課題を、学校に共通する課題に再設定するしくみをつくり、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		7 教職員の同僚性に基づく公開授業システムづくり	校内研修において教職員が相互交流することを通して授業実践を協力して省察し、改善する公開授業のしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		8 教職員と児童生徒の安全・衛生・健康の確保	養護教諭・安全主任等のほかに産業医、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、警察署、防犯指導員等と協働の関係を構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
E 学校のリスクマネジメントの展開	E 学校のリスクマネジメントの展開	2 登下校の安全確保	保護者、関係者と連携を図るとともに学校が所在する警察署その他機関、地域の安全確保する団体、地域住民との連携、調整するしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		3 いじめ・不登校等の予防と対応	さまざまな情報源を発掘し、データを分析して、組織的に発見・防止・対応できるしくみを構築し、必要な手立てで講ずることができます。	4 - 3 - 2 - 1
		4 学校事故の予防と対応	安全教育が適切になされるよう、組織的・計画的な対応を促すとともに、校内の危険箇所の日常的な点検・補修ができる。	4 - 3 - 2 - 1
		5 苦情の予防と対応	保護者、関係者からの苦情が発生しないよう、教職員に教育的配慮を促すとともに、苦情に迅速に対応し、校長に報告できる。	4 - 3 - 2 - 1
		6 自然災害への備えと対応	児童生徒に必要な防災教育を組織的・計画的に行うよう教職員に促すとともに、「危険等発生時対処要綱」づくりを地域と連携して作成でき、災害発生時には、「危険等発生時対処要綱」に沿って迅速に対応できる。	4 - 3 - 2 - 1
		7 我が「リーダーシップ」の省察	高い使命感と公正、公平の意識をもって職務にあたり、学校の責任者として自らの言動や行為のありようを絶えず省察することを通じて、職業倫理、職能成長に努めた結果を目標申告や職務能力発揮シート並びにビションシート(学校経営計画)に記述できる。	4 - 3 - 2 - 1
		8 倫理規範とリーダーシップ	学校ビジョン具現化に向けてカリキュラム、施策等を様々な機会を利用して説得力をを持って教職員、保護者、地域社会に明確に伝えることができる。	4 - 3 - 2 - 1

基本のチェックリスト

柏市教職員人材育成指標をもとに作成

令和 年 月 日
() 学校 氏名 ()

日々の教育活動の中で常に心がけ、身につけてほしい基本的な事柄です。

柱	指標	チェックリスト
な 教 素 養 に 必 要	A1	① 規範意識を持ち、不祥事を起こさないという信念を持って職務にあたっている。
	A2	② 他の教職員や児童生徒、保護者、地域住民等と、円滑なコミュニケーションを取れている。
	A3	③ 自分自身の教育活動について振り返り、成果と課題を明確にしている。
	A4	④ 教育に関する最新の動向について、情報収集している。
実 学 習 的 指 導 対 力 関 す る	B5	⑤ 教材研究を行う際に、学習指導要領や年間指導計画を確認している。 ⑥ 各教科等において、それぞれの特質に応じた見方・考え方を意識した授業を行っている。
	B6	⑦ 基本的な学習ルールを意識させている。 ⑧ 児童生徒の実態を把握して、「つけたい力」や「目指す姿」をイメージして、授業構想を立てている。 ⑨ 単元を意識して、授業を計画している。 ⑩ 必要に応じて個に応じた指導や協働的な学びを取り入れている。 ⑪ 児童生徒の振り返り活動を取り入れ、授業づくりに生かしている。 ⑫ ねらいに即した学校図書館活用を行っている。
	C7	⑬ 児童生徒の様子の変化に注意を向いている。 ⑭ 児童生徒の個性や考えを認め合う学級経営や授業を行っている。
	C8	⑮ 児童生徒の気持ちや問題行動の背景を理解した上で指導している。 ⑯ 児童生徒のできたところやよいところを認め、伝えている。
	C9	⑰ 自校のいじめ防止基本方針を理解している。
	C10	⑱ 日常の教育活動の中に、キャリア教育の視点を取り入れている。
チ ー ム 学 校 を 支 え る 資 質 能 力	D11	⑲ 学校教育目標を理解し、学級経営・教科経営の方針を立てている。
	D12	⑳ 校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たしている。 ㉑ けがや事故・生徒指導的な問題等を記録し、学年主任や管理職に報告している。 ㉒ スケジュールを管理して、時間や提出物の期限を守っている。
	D13	㉓ 他の教職員と連携・協働して、学習指導や生徒指導等を行っている。 ㉔ 保護者に児童生徒の様子を伝え、連携・協働して教育活動を行っている。
	D14	㉕ 他の教員の授業を積極的に参観している。 ㉖ 教員同士の学び合いの機会を大切にし、自らの教育活動に生かしている。
支 援 供 へ 必 別 の 要 な 対 と 配 応 す る や	E15	㉗ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の学習上・生活上における強みを把握している。
	E16	㉘ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対して、学習上・生活上の支援を工夫している。 ㉙ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対して、他の教職員、保護者、関係機関等と連携して個に応じた支援をしている。
	F17	㉚ 学習指導等にICTを効果的に活用している。 ㉛ 児童生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を意識した指導を行っている。
教 育 デ ィ ク ッ テ ザ 利 活 用 等	F18	㉜ 教育相談、いじめや不登校等の対応、児童生徒の特性に応じた支援等にICTを効果的に活用している。
	F19	㉝ ICTを活用することで、校務の効率化を進めている。
	一	㉞ あたたかみのある笑顔で児童生徒と接している。 ㉟ 児童生徒といふことを楽しめている。 ㉟ 相談できる人が校内にいる。

★チェックリストの使い方★

1. このチェックリストは、自分自身を振り返るためのものです。
2. チェックした日付を入れ、計画的・継続的に活用してください。
- 3. 十分満足な場合は○、満足な場合は□、改善が必要な場合は△をつけます。**
4. 改善に向けて、周りの先生方にも相談してみましょう。

授業の改善チェックリスト

柏市教職員人材育成指標をもとに作成

客観的に自分の授業を振り返ることで、授業力を向上することができます。

このチェックリストを活用し、今後の授業改善に役立ててください。

令和 年 月 日

() 学校 氏名 ()

		チェックリスト		平均
授業構想	①	学習指導要領の目標やねらいをもとに、児童生徒の実態を踏まえて「つけたい力」や「めざす姿」をイメージしている。	4・3・2・1	
	②	「学力・学習状況調査」等の分析結果を単元や授業づくりに生かしている。	4・3・2・1	
	③	単元や授業を通して、指導過程である「見いだす・自分で取り組む・広げ深める・まとめあげる」の時間を意図的・計画的に位置付けている。	4・3・2・1	
	④	児童生徒の興味・関心が高まるような教材研究や、指導方法の工夫を行っている。	4・3・2・1	
	⑤	単元計画や授業計画の中に、評価方法を位置付けている。	4・3・2・1	
授業展開	⑥	ファシリテーターとして児童生徒の意見を丁寧に聴き、適切に授業で取り上げ、進めている。	4・3・2・1	
	⑦	児童生徒のいろいろな考え方や意欲を引き出すような、発問・指示・助言等をしている。	4・3・2・1	
	⑧	その場に応じて、適切に児童生徒を認める言葉掛けを行っている。	4・3・2・1	
	⑨	教科や単元の中で、支援教員や支援員・外部人材などを意図的・計画的に組み入れ、協働による授業を行っている。	4・3・2・1	
	⑩	必要に応じて個に応じた指導や協働的な学びなどを取り入れている。	4・3・2・1	
	⑪	児童生徒の学習状況を的確に把握し、授業がより良いものとなるよう、工夫・改善をしている。	4・3・2・1	
授業反省・改善	⑫	授業の振り返りを行い、児童生徒に「本時のつけたい力」が身に付いたかを見取っている。	4・3・2・1	
	⑬	単元全体をとおして児童生徒の変容を明らかにしている。	4・3・2・1	
	⑭	児童生徒の変容と指導の効果を関連づけて考察し、授業改善に生かしている。(指導と評価の一体化)	4・3・2・1	
・研修研究	⑮	専門書等で知識を得たり、校内外の研修等に参加したりすることで、自身の指導方法や指導技術を高めている。	4・3・2・1	

★チェックリストの使い方★

- ① このチェックリストは、自分自身を振り返るためのものです。
- ② チェックした日付を入れ、計画的・継続的に活用してください。
- ③ 各項目の平均点を出すことで、自身の「強み・弱み」を把握することもできます。
- ④ 周りの先生方と相談しながら改善方法を探してみましょう。

I 柏市小中学校教職員研修事業について

1 はじめに

平成20年度より柏市が中核市となり、千葉県から教職員研修事業が委譲されたこと（地教行法第59条）に伴い、柏市では独自に研修事業を実施している。

今日、国際化や情報化、少子化などの社会構造の急激な変化や人々の意識や価値観の多様化などに伴い、学校教育を取り巻く課題は、これまで以上に多様で複雑・高度なものとなっている。

これらの課題の対応については、今までの経験や方法では対応しきれない状況が生まれている。

さらに、柏市では教職員の大量退職に伴う大量採用が続いている、指導力や指導技術の継承が困難な状況にある。

こうした状況の中、教職員にはこれまで以上に、経験年数や職務に応じた専門的知識や実践的指導力と様々な教育課題に組織的に対応できる力が必要となり、社会の変化に対応した「新たな学び」を支える「学び続ける教職員」の育成が急務となっている。

併せて、校長のリーダーシップのもと、教職員一人一人がそれぞれの能力を最大限に発揮するとともに、学校経営目標の実現に向け連携・協働して教育活動に取り組み、組織として力を発揮し、学校の教育力を高める必要がある。

そこで柏市教育委員会では、意図的・計画的に人材育成を図るため、平成28年度に「柏市教職員人材育成指針」を策定し「柏市教職員人材育成指標」を設定することにより、個々の教職員、学校、教育委員会が目指す教職員像の共通理解を図った。

管理職においても人材育成の必要性が増してきており、管理職自身が主体的・自律的に資質・能力が獲得できるよう、平成31年に「柏市学校管理職人材育成指針」及び「柏市学校管理職人材育成指標」を策定し、これらの指針・指標をもとに研修事業の充実に努めてきた。

令和4年8月には、文部科学大臣から「教員等の資質向上に関する指針」が出されたことを受け、千葉県の教員等育成指標改訂に併せて令和6年度より柏市教職員人材育成指針及び柏市教職員人材育成指標を改訂した。

2 柏市教職員人材育成の今後の方向性

令和4年8月、文部科学大臣から「教員等の資質向上に関する指針」が出されたことを受け、「千葉県・千葉市教員等育成指標」が改訂された。その背景として、新たな教員の学びの姿として求められているのは、一人一人の教員等が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことが挙げられている。教員等の資質の向上を図ることは、児童生徒等の教育を充実することに他ならない。個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒等の学びのみならず、教員等の学びにもまた求められており、児童生徒等の学びのモデルとなることが期待されている。

柏市においても千葉県内各市町村と同様に、急速に変化する学校を取り巻く環境に柔軟に対応し、各教職員の資質能力の向上がより一層求められるところである。また、近年市間交流も盛んになり、県内の教職員に求める資質能力についても柏市と千葉県の整合性を図ることが求められる。

そこで、柏市教育委員会が実施する教職員研修は、これまで同様「校外研修」「校内研修」「自己研鑽」において、それぞれの教職員がキャリアステージに応じた資質能力の向上を図ることを目指しつつ、「柏市教職員人材育成指針」及び「千葉県・千葉市教員等育成指標」に基づき再構築した。管理職においても研修体系を再構築し、管理職としての学校経営力やマネジメント力の向上を図ることとした。

3 教職員に求める資質能力

(1) 柏市の基本方針（第2次柏市教育振興計画より）

未来につなぐ柏の教育

～ 学び続ける力の育成、多様性の尊重、安全・安心な学校づくり～

(2) 柏市の目指す教職員像（柏市教職員人材育成指標より）

教育者としての愛情と使命感をもち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員

(3) 教職員に求める資質能力（柏市教職員人材育成指標より）

【A 指標】教職に必要な素養

- 使命感、責任感、教育的愛情、高い倫理観、コンプライアンス、服務規律の遵守
- 社会性、コミュニケーション能力
- 社会の変化への対応、広い視野、学び続ける意欲
- 教職に関する教養

【B 指標】学習指導に関する実践的指導力

- 教科等についての専門性
- 授業実践、指導技術

【C 指標】生徒指導等に関する実践的指導力

- 子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築、生徒指導
- 教育相談、個別指導
- 人権教育の推進、生徒指導上の課題への対応
- キャリア教育、進路指導

【D 指標】チーム学校を支える資質能力

- 教育課程の管理・運用
- 校務分掌と連携・調整
- 家庭や地域、関係機関等との連携・協働
- 研修（研究）体制

【E 指標】特別な配慮や支援を必要とする子供への対応

- 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解
- 学習上・生活上の支援

【F 指標】ICT や情報・教育データの利活用等

- 学習指導に関する ICT 利活用
- 生徒指導に関する ICT 利活用
- ICT による校務効率化

4 学校管理職に求める資質能力

(1) 柏市の目指す学校管理職像（柏市学校管理職人材育成指針より）

柏市の教育者としての高い識見と広い視野を持ち、経営者としての優れたリーダーシップとカリキュラムを基盤とした組織マネジメントを発揮し、組織的、機動的な学校経営を推進する。

(2) 学校管理職に求める資質能力（柏市学校管理職人材育成指針より）

【資質・能力】

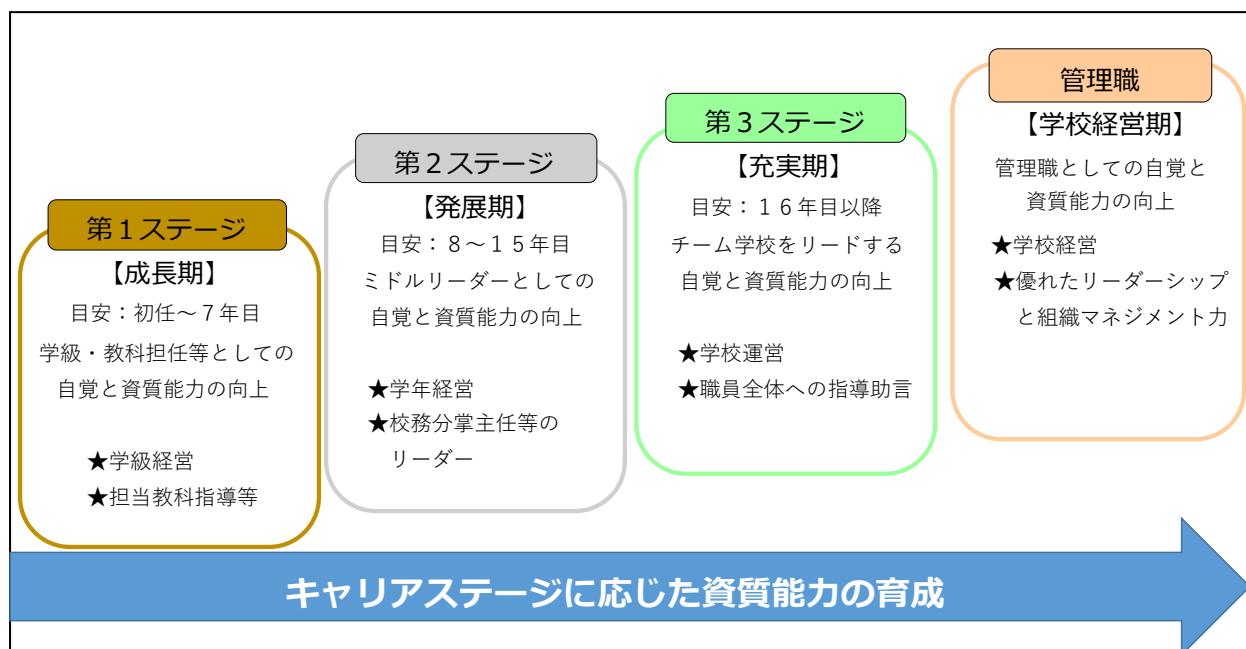
- 学校を取り巻く社会的・文化的要因の理解
- 学校ビジョンの形成と検証
- 教育資源の効果的な活用
- 学校の組織設計と地域協働
- 学校のリスクマネジメントの展開
- 倫理規範とリーダーシップ

5 研修体系

(1) キャリアステージ

柏市では、教職員の資質能力向上の状況を第1～第3ステージと管理職の4段階に分けて考えた。教職員のキャリアアップの実現状況は個人差や学校の状況により異なることから、一律に経験年数で捉えることはできないが、おおよその目安として、第1ステージは初任から7年目、第2ステージは8年目から15年目、第3ステージは16年目以降として、身に付けるべき資質能力を年次研修に位置付けている。(具体的な資質能力は「柏市教職員人材育成指標」参照)

年次研修以外の研修については、個々の教職員の実際のキャリア発達に応じて受講することになる。



(2) 研修（種別ごと）

① 悉皆研修（年次研修・新任時研修）

採用年数や職層に応じて、系統的・継続的に教職員として身に付けるべき資質能力の向上を図る。

② 悉皆研修（職務①・職務②（職務に応じた研修））

校務分掌を遂行するための専門性の向上を図る。

③ 特別研修（夏季研修講座等）

教科等に関する専門的な指導力や教育課題に関する専門的な能力の向上を図る。

④ 希望研修

教育的実践力や校務遂行力、教育的実践力、専門性の向上等、自己研鑽を図る。

⑤ 国・県が実施する研修（悉皆・推薦・希望）

学校教育において中心的な役割を担う人材育成を図る。

⑥ 長期研修（大学院・教職大学院他）

高い専門性を身に付けリーダーとして教育の推進者となる人材育成を図る。

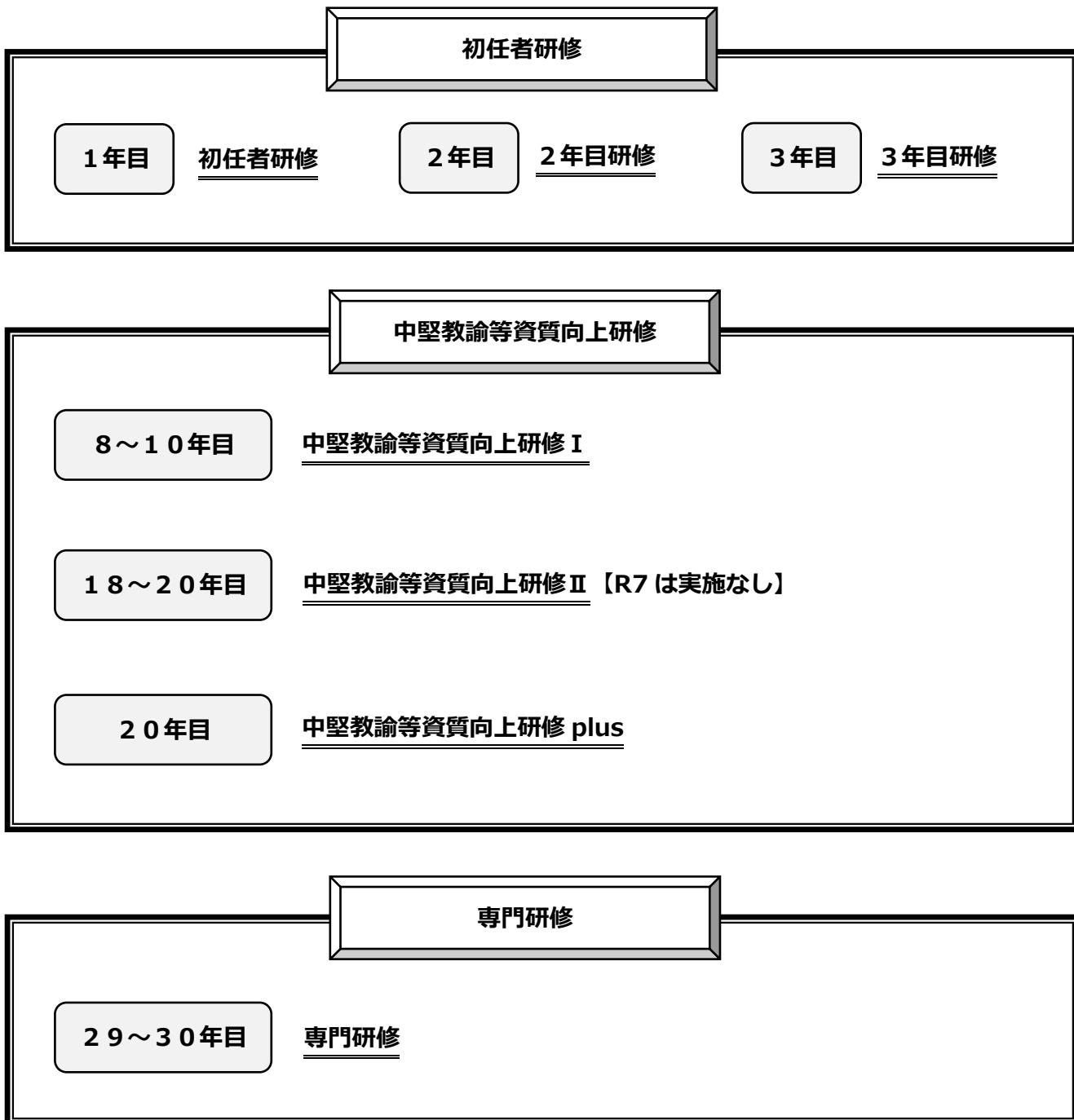
柏市教職員研修体系

ステージ	採用前 【養成段階】	第1ステージ 【成長期】 (学級経営・担当教科指導等)	第2ステージ 【発展期】 (学年経営・校務分掌主任等のミドルリーダー)	第3ステージ 【充実期】 (学校経営等、職員全体へ指導・助言)	管理職 【学校経営期】
		学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上	ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上	チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上	経営者として優れたリーダーシップとカリキュラムを基盤とした組織マネジメントを発揮し、組織的・機動的な学校経営を推進
悉皆研修(職務)	新任講師研修 悉皆研修(年次) 新任講師研修 2年目研修 3年目研修 特別支援教育新任担当教員等研修	初任者研修 中堅教諭等資質向上研修 I 新任教務主任研修	中堅教諭等資質向上研修 plus 専門研修	新任教頭研修 新任校長研修 2年目校長研修	

悉皆研修(職務)	【学校教育課】 ●職場環境づくりマネジメント研修 ●保健主事研修 ●養護教諭研修
	【指導課】 ●司書教諭研修 ●理科主任研修 ●音楽主任研修 ●図工・美術主任研修 ●技術・家庭科主任研修 ●体育主任研修 ●外国語主任研修 ●道徳教育推進教師研修 ●小動物飼育研修 ●プログラミング研修講座 ●外国籍支援担当研修
	【児童生徒課】 ●特別支援教育コーディネーター研修 ●特別支援教育管理職研修 ●教育相談担当者研修 ●人権尊重教育研修
	【教職員課】 ●教頭・事務職員合同研修 ●事務職員研修
	【学校給食課】 ●栄養士研修 ●食育研修 ●給食主任・栄養士合同研修 ●給食関係職員研修
	【教育研究所】 ●教務主任研修 ●研究主任研修 ●初任者研修指導教員研修 ●スタートカリキュラム研修
	【教育研究所】 ●リーダーセミナー
	【指導課】 ●体力向上・部活動指導研修

特別研修	夏季研修講座	夏季情報活用研修講座	外国語指導スキルアップ講座
------	--------	------------	---------------

柏市教職員研修体系



【移行措置対応表】

		中堅教諭等資質向上研修 plus	中堅教諭等資質向上研修 II
移行期間	2014年度以前の採用	受講する	なし
移行完了	2015年度以降の採用	なし	受講する

【研修体系の移行措置について】
・令和2年度より研修対象者の選定方法が「在職期間」から「採用年度」に変更。
・育休、産休、療休等の取得に関わらず、採用年度にて研修を受講する。

Ⅱ 研修事業の申し込み・提出物・連絡等について

1 研修履歴システム Plant による研修申し込みについて

「千葉県主催の研修」並びに「柏市教育委員会主催の研修」にかかる研修申し込みは、原則、**研修履歴システム Plant** により行う。なお一部 **Plant** を使用しない研修については、千葉県教育委員会発行の「千葉県公立学校教職員 研修事業総合計画」、千葉県総合教育センターや教育研究所の発行する「令和 7 年度 研修事業一覧」等にて申し込み方法を確認すること。

(1) 千葉県主催の研修について

「千葉県教育庁」「千葉県総合教育センター」及び「千葉県子どもと親のサポートセンター」等千葉県主催の研修申し込みは、千葉県教育委員会発行「千葉県公立学校教職員 研修事業総合計画」、千葉県総合教育センター・千葉県子どもと親のサポートセンター発行「令和 7 年度研修事業一覧」を参考にし、**Plant** 等で申し込みを行う。

(2) 柏市主催の研修について

柏市では法定研修のうち、初任者研修・2年目研修・3年目研修・中堅教諭等資質向上研修 I ・中堅教諭等資質向上研修 plus ・専門研修・新任時研修(校長・教頭・教務主任・特別支援教育担当) 等の**悉皆研修(年次)**、及び校務分掌を遂行するための専門性の向上を図る**悉皆研修(職務①②)**、校務遂行力や教育的実践力の向上を図る**希望研修**、教科等に関する専門的な指導力や教育課題に関する専門的な能力の向上を図る**特別研修**を開設し、それらは原則 **Plant** による申し込みが必要となる。

・**Plant** の使用方法については、システムより操作マニュアルをダウンロードして確認する。

各研修事業の研修種別、申込期間については
「令和 7 年度 柏市研修事業一覧」 にて確認する。

【Plant】による研修申込期間】

期間	種別	申込期間	学校管理職承認期間
【4月】	悉皆	4/7 (月) ~ 4/14 (月)	4/7 (月) ~ 4/17 (木)
	推薦	4/7 (月) ~ 4/22 (火)	4/7 (月) ~ 4/28 (月)
	希望	4/7 (月) ~ 4/22 (火)	4/7 (月) ~ 4/28 (月)
【6月】	希望	6/3 (火) ~ 6/10 (火)	6/3 (火) ~ 6/13 (金)

2 各研修要項及び様式のダウンロードについて

Plantの各研修のページよりダウンロードする。

※詳細は操作マニュアルを参照。

3 各研修様式のアップロード（提出）について

Plantの各研修のページよりアップロードする。

※詳細は操作マニュアルを参照。

4 研修への欠席及び中止等の連絡について

(1) 欠席の報告

やむを得ない理由で欠席する場合、自校所属長を通し、研修担当者にその旨を連絡するとともに、欠席届を**研修主催者の所属長宛**に提出し、報告する。

【欠席届（共通様式1）格納先】

- ・教育研究所 HP → 教職員研修 → 様式
- ・デジタル校務ライブラリ → 2 教育委員会⇒学校 → 208 教育研究所 → 様式

(2) 研修の中止等にかかる連絡

台風等、予期せぬ事態により研修の開催方法の変更または中止せざるを得ない場合は、「デジタル校務」及び「教育研究所 HP」のお知らせ等に掲載するため、事前に確認を行うこと。

なお、感染症のまん延等、前もって中止とする場合は、学校管理職宛文書等により事前に中止連絡を行う。

III 悉皆研修 (年次研修・新任時研修 (講師を除く))

事業番号	講座名	内 容	担当
3810601	(柏市) <u>小中学校 初任者研修</u>	教員としての素養、児童生徒理解、学級経営、授業経営を含む実践的指導力、生徒指導 等	
3810602	(柏市) <u>小中学校 2年目研修</u>	教員としての素養、学級・教科経営力の向上、課題解決に向けた幅広い知見を得にいく姿勢	
3810603	(柏市) <u>小中学校 3年目研修</u>	校務分掌経営の視点、学級・教科経営力の向上、自己の教育課題に基づいた実践研究	
3810604 【優先講座】 3830637 3830638	(柏市) <u>中堅教諭等</u> <u>小中学校 資質向上研修 I</u>	組織マネジメントの視点、校務の推進における企画力や運営力、学校の教育課題に基づいた実践研究	教育研究所
3810605	(柏市) <u>中堅教諭等</u> <u>小中学校 資質向上研修 plus</u>	組織マネジメント、人材育成の視点 ※夏季研修講座と兼ねる	
3810606	(柏市) <u>小中学校 専門研修</u>	組織マネジメント、人材育成 ※夏季研修講座と兼ねる	
3810607	(柏市) <u>小中学校 新任校長研修</u>	校長の職責、学校組織マネジメントの発想に立った学校経営、危機管理、人材育成等	
3810608	(柏市) <u>小中学校 2年目校長研修</u>	学校経営目標の実現と学校経営ビジョンの展開	
3810609	(柏市) <u>小中学校 新任教頭研修</u>	教頭の職責、学校組織マネジメントの発想に立った学校運営、危機管理、人材育成、学校管理等	
3810610	(柏市) <u>小中学校 新任教務主任研修</u>	教務主任の役割、教育課程の編成とマネジメント、人材育成等	
3810611	(柏市) <u>特別支援教育</u> <u>小中学校 新任担当教員等研修</u>	学級経営、障害特性に応じた指導・支援、特別支援学級授業参観、授業実践等	児童生徒課

令和7年度（柏市）初任者研修 実施要項

I 初任者研修の概要

1 目的

教育公務員特例法第23条並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市の年次研修の一環として、新任教員（以下「初任者」という）に対して、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させることを目的とする。

2 対象

- (1) 初任者研修の対象となる初任者は、別表のとおりとする。
- (2) 柏市教育委員会は、その所管する小学校及び中学校（以下「小学校等」という）の初任者について、年間研修計画及び年間指導計画に従い、1年間の初任者研修を受けさせる。
- (3) 養護教諭及び養護助教諭、学校栄養職員及び栄養教諭、市立高等学校の初任者については、千葉県教育委員会に依頼し実施する。

[別表]

対 象	初任者研修
① 公務員として採用された当初に小学校等の教諭等となった場合	○
② 他の職種の公務員が、小学校等の教諭等となった場合	○
③ 教諭等として国立学校、公立の学校又は私立の学校である小学校等において、引き続き1年を超える期間を勤務した経験を有する者が、小学校等の教諭となった場合	△
④ 臨時的に任用された小学校等の教諭	×
⑤ 期限附で任用された小学校等の教諭	×

(注) ○：対象となること △：任命権者の判断により対象となること ×：対象外となること

3 研修内容

- (1) 全体集合研修（12日）
- (2) 授業実践研修（3日）
- (3) 校内研修（週7時間、年間210時間以上）
 - 校内において指導教員を中心とする指導及び助言による研修
 - ア 授業研修（週6時間、年間180時間以上）
 - イ 年間指導計画に基づく研修（週1時間、年間30時間以上）

4 年間研修計画及び年間指導計画

- (1) 柏市教育委員会は、年間研修計画を作成する。
- (2) 年間研修計画においては、「3」に定める事項のほか、校内研修、校外研修の項目及び時期その他必要な事項を定める。
- (3) 柏市教育委員会は、研修の進展に応じて、年間研修計画について適時必要な改善を行う。
- (4) 校長は、柏市教育委員会が作成する年間研修計画に基づき、教職員組織や地域の状況等学校の実情に配慮し、指導教員等の参画を得て、当該学校における年間指導計画（校内研修）を作成する。
- (5) 年間指導計画（校内研修）においては、柏市教職員人材育成指標（以下「指標」という）に基づいて、研修の項目及び時期、その他必要事項を定める。なお、校内研修が円滑に実施できるよう研修時間についてはできるだけ事前に週時程へ組み入れる。

5 校内体制

- (1) 校長は、初任者研修に学校全体が関わる校内体制を作るとともに、指導及び助言に当たる。
- (2) 校長は、初任者が校外研修を受ける間、その授業が適切に行われるよう配慮する。
- (3) 校長は、指導教員との連携を図るため、校内に初任者研修部会を設置し、初任者に対し適切な指導がなされるように配慮する。
- (4) 初任者は、原則として、学級又は教科を担当する。また、校長は、初任者研修が効果的に実施できるよう担当授業時数等、校務分掌を軽減する等の配慮に努める。
- (5) 指導教員は、校長、副校長及び教頭の指導の下に、年間指導計画（校内研修）に従い、初任者に対して指導及び助言を行う。
- (6) 指導教員は、校長、副校長、教頭及び指導教員以外の教員による初任者に対する指導及び助言の状況を把握し、年間を通して系統的、組織的な研修が行われるようにする。
- (7) 指導教員以外の教員は、校長、副校長及び教頭の指導の下に、年間指導計画（校内研修）に従い指導教員と連携しつつ、教科指導や生徒指導、学級経営等、必要な研修分野を分担して指導及び助言に当たる。

6 指導教員の措置及び役割

【拠点校方式】

- (1) 千葉県教育委員会は、原則として、初任者4人に1人の割合で初任者指導に従事する指導教員（以下、拠点校指導教員という）を配置するため教員定数についての措置を講じる。
- (2) 校長は、拠点校指導教員の他に、校内においても指導教員（以下、校内指導教員という）を置き、校務分掌組織に位置づける。
- (3) 拠点校指導教員は、校内指導教員と連携し、初任者に対し「授業研修」及び「年間指導計画に基づく研修」等の指導及び助言に当たる。その際、教科に関する指導においては専門的な内容のみならず学習指導全体に関わる指導がなされるよう配慮する。

【従来方式】

- (1) 千葉県教育委員会は、初任者研修の実施に伴い必要となる非常勤講師を措置する。柏市教育委員会は、非常勤講師が措置された校長の意見を聞いて、当該学校の副校長、教頭、主幹教諭、教諭又は非常勤講師の中から、初任者の指導に従事する指導教員を命じる。
- (2) 校長は、指導教員による初任者に対する指導及び助言が円滑に実施できるようにするため指導教員の担当授業時数等校務分掌の軽減に配慮する。
- (3) 指導教員は、初任者に対し「授業研修」及び「年間指導計画に基づく研修」等の指導及び助言に当たる。その際、教科に関する指導においては専門的な内容のみならず学習指導全体に関わる指導がなされるよう配慮する。

7 非常勤講師

千葉県教育委員会より、初任者研修の実施に伴い必要になる非常勤講師の人数に応じて派遣教員が任命され、柏市教育委員会の求めに応じて当該派遣教員が派遣される。

8 計画書及び報告書等の提出

校長は以下に示す計画書及び報告書を、デジタル校務メールにて「●研修管理（教育研究所）」宛に提出する。

- ① [B 研修] 年間指導計画書（初任研様式1）
- ② 校内研修体制報告書（初任研様式2）
- ③ 年間指導報告書（初任研様式5）

9 初任者研修指導教員研修会

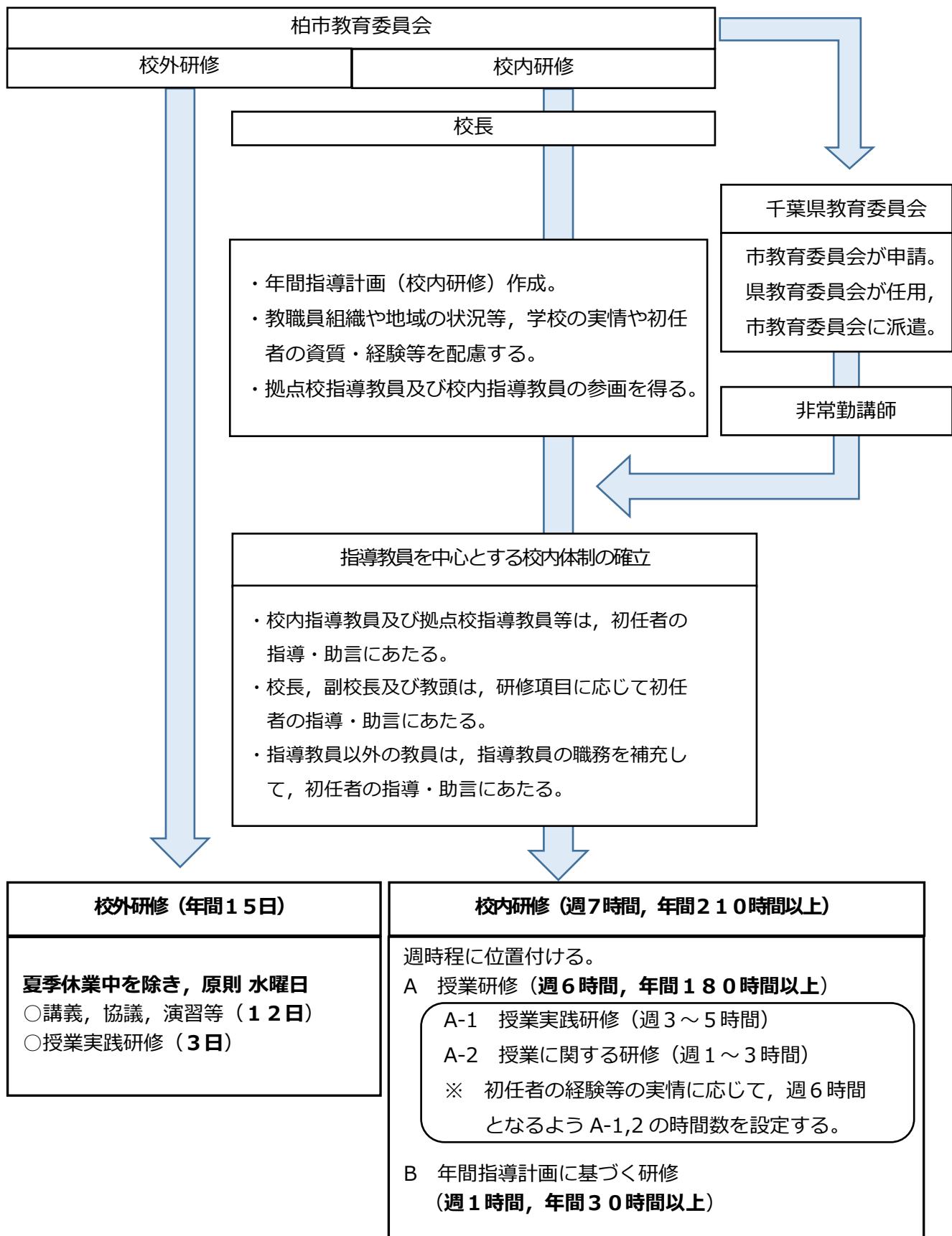
初任者研修を円滑かつ効果的に実施するため、初任者研修指導教員研修会を開催する。

10 その他

この事項に定めるもののほか、初任者研修の実施について必要な事項等は関係者が協議したうえで、これを定める。

11 初任者研修の仕組み

初任者は、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得るために、学級や教科等を担当しながら、採用の日から1年間、実践的研修（初任者研修）を受ける。



II 校内研修について

1 校内研修の目的

初任者研修の目的のうち、特に校内研修は、教育活動に必要な実践的指導力と使命感を日常の授業を通して自律的に学ぶとともに、校務遂行に必要な見方・考え方及び知識等を習得することを目指す。

2 校内研修の内容

校内研修は、A「授業研修」、B「年間指導計画に基づく研修」で、週7時間、年間210時間以上実施する。研修の単位時間は夏季休業中等を問わず、小学校45分、中学校50分とする。これらは週時程に位置付けて計画的に行う。

校内研修の種類		研修時間	後補充	備 考
A 授業研修	A-1 授業実践研修	週 3~5 時間	不要	指導教員等の指導の下、初任者が授業を行う。 指導教員の実演授業から学ぶ。
	A-2 授業に関する研修	週 1~3 時間	必要※	授業の事前・事後研修、 <u>指導教員以外の授業参観等</u> を行う。 全教科（中学校は担当教科）・道徳・総合的な学習の時間・学級活動・外国語活動（小）をそれぞれ1回以上実施する。
B 年間指導計画に基づく研修		週1時間	必要※	初任者が複数配置の場合、合同で実施しても良い。

※ 初任者が授業を担当していない時間に研修時間を組む場合は、後補充の必要はない。

【A研修】授業研修（週6時間、年間180時間以上）

この研修は、初任者が実際の授業において児童生徒を指導していく過程を通して行う。各教科等指導の基本的な技能、効果的な授業展開の在り方、児童生徒の学習活動の様子、教材の工夫について相談したり、指導・助言を受けたりすることにより、教科を中心とした実践的指導力の向上を目指す。A-1 授業実践研修及び A-2 授業に関する研修の2種類を実施する。

A-1 授業実践研修（週3~5時間、年間90~150時間以上）

- 初任者が実際に授業を行う研修
※ 中学校では、担当教科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間
- 指導教員の授業から学ぶ研修（実演授業のこと。A-1 実演）

<A-1 実演について>

年間で1回以上実施する。小学校においては、教科等は適宜交代して行う。
中学校で初任者と指導教員の担当教科が異なる場合は、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で実演授業を実施する等、校内で工夫すること。

A-2 授業に関する研修（週1~3時間、年間30~90時間以上）

- 授業の事前・事後研修として、授業の単元計画や授業反省、教材研究等について指導教員等の指導・助言を受ける研修
- 指導教員以外の教員の授業から学ぶ研修（参観・見学等のこと。A-2 参観）

<A-2 参観について>

以下は A-2 参観としてそれぞれ1回以上必ず実施すること。

全教科（中学校では担当教科）・道徳・総合的な学習の時間・学級活動・外国語活動（小）

【B研修】年間指導計画に基づく研修（週1時間、年間30時間以上）

この研修では、指導教員等（校内指導教員、初任者指導教員、学年主任、分掌主任等）が、初任者に対して年間指導計画に基づき指導を行う。教育活動全般においての必要なことからを身に付けることにより、教員として、また組織の一員としての実践的指導力と使命感を養う。年間指導計画は、柏市教育委員会が作成した年間研修計画（校内研修）に基づき、教職員組織や地域の状況等学校の実情に配慮し、指導教員等の参画を得て、校長が作成する。

3 年間指導計画書、校内研修体制報告書及び指導報告書について

【計画書】

① **【B研修】年間指導計画書（初任研様式1）**

校長が、柏市教育委員会が作成した年間研修計画書に基づき、学校の実情を配慮するとともに、指導教員の参画を得て作成する。

② **校内研修体制報告書（初任研様式2）**

週時程が複数ある場合は、年度当初の週時程に基づき作成する。

【報告書】

年間指導報告書（初任研様式5）

研修を実施するごとに、実施日や研修内容等の入力を行う。

- ・年間の実施時数に達している場合は、それ以降の月の報告書は入力不要
- ・3月3日（火）までに年間の実施時数に達していない場合は、
3月分の報告書に見込みで構わないので指導計画を記載して提出する。
- ・管理職確認欄はデータでの提出となるので押印等の入力不要

作成者	作成する書類	提出期限	提出方法
校長	【B研修】年間指導計画書 (初任研様式1)	5月13日(火)	デジタル校務 ●研修管理（教育研究所）宛
	校内研修体制報告書 (初任研様式2)	5月13日(火)	
	年間指導報告書 (初任研様式5)	3月 3日(火)	

Ⅲ 校外研修について

1 校外研修の目的

学習指導要領の趣旨の基、幅広い知見や使命感を得るとともに、校内研修と関連を図りながら、自主自律的な学級・教科経営の実践的指導力をつけ、組織の一員として学校課題に取り組む自覚を持たせる。

2 校外研修の内容

校外研修を年間15日間受講する。

(1) 全体集合研修（12日）

(2) 授業実践研修（3日）

ア 授業実践研修①「同校種授業参観」

イ 授業実践研修②「授業の展開（道徳）」

ウ 授業実践研修③「授業の展開（訪問）」

3 校外研修年間計画

回	実施日	時程	指標	テーマ	講師	会場
1 5/14 (水)		9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:35 ～10:05	A1	千葉県知事講話・千葉県教育長講話 ※動画視聴	千葉県知事 千葉県教育長	
		10:05 ～10:35 (~10:50)	A1	講話 「柏市教育委員会として初任者に期待すること」 (※休憩)	柏市教育長	
		10:50 ～11:20	D12	講話 「柏市の教育施策について」	教育研究所長	
		11:20 ～11:50	D14	初任者研修の概要・諸連絡	教育研究所	
		13:00 ～14:30 (~14:45)	D11	講義・演習 「組織の一員としての自身の役割 ～学校教育目標と目標申告について～」 (※リフレクション、休憩)	教育研究所	
		14:45 ～16:15 (~16:30)	D11	講義・演習 「学級経営①学級経営の基本」 (※リフレクション、連絡)	教育研究所	
2 5/21 (水)		9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:35 ～11:35 (~11:50)	A2 C7	講義・演習 「接遇の基本」 (※リフレクション、連絡)	講師 中島 彩花	
		13:00 ～14:30 (~14:45)	B5	講義・演習 「学習指導①学習指導要領と「指導と評価の一体化」の理解」 (※リフレクション、休憩)	教育研究所	
		14:45 ～16:15 (~16:30)	B6	講義・演習 「学習指導②授業のベーシックスキル」 (※リフレクション、連絡)	柏市教育委員会	

回	実施日	時程	指標	テーマ	講師	会場
授 ①	6月 ～1月	-	B5	授業実践研修① 「同校種授業参観」	他校の教諭等	各県市 校内
授 ②	6月 ～1月	-	B6	授業実践研修② 「授業の展開（道徳）」	自校の教諭等	自 校
3	6/18 (水)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:35 ～11:45 (~12:00)	C7 C9	講義・演習 「児童生徒理解①個別の課題に対する生徒指導」 (※リフレクション、連絡)	柏市教育委員会	
		13:30 ～16:15 (~16:30)	D11 D13	講義・演習 「学級経営②学級経営案に基づく保護者会シミュレーション」 (※リフレクション、連絡)	信州大学 特任教授 青木 一	
4	6/25 (水)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:35 ～11:45 (~11:50)	B5	講義・演習 「学習指導③各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり」 (※連絡)	柏市教育委員会	
		13:00 ～14:30 (~14:45)	D13	講義・演習 「児童生徒理解②保護者との関係づくり」 (※リフレクション、休憩)	外部講師	沼南庁舎 大会議室
		14:45 ～16:15 (~16:30)	E15 E16	講義・演習 「児童生徒理解③学級にいる支援を必要とする子どもの理解と対応～特別支援教育の視点から～」 (※リフレクション、連絡)	柏市教育委員会	
5	8/4 (月)	10:00 ～12:00	B5	夏季研修講座合同 「特別な教科『道徳』の実際 初級編」	麗澤大学 准教授 江島 顕一	クリスタルアミューズメント 柏
		13:30 ～15:30 (~15:45)	C7 C8	夏季研修講座合同 「児童生徒理解④ゲートキーパーの役割 ～大切な子供と仲間を守るために～」 (※休憩)	メンタルレスキュー協会 理事 小野田 奈美	
		15:45 ～16:15 (~16:30)	C9	「めぐみ」※動画視聴 (※連絡)	柏市教育委員会	
6	8/5 (火)	9:30 ～9:50	-	研修ガイダンス 「1学期の振り返り」	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:50 ～10:20 (~10:25)	D14	講義・演習 「アクションプラン①アクションプラン研修の進め方」 (※休憩)	教育研究所	
		10:25 ～11:45 (~12:00)	D11	講義・演習 「学級経営③学級経営の充実」 (※リフレクション、連絡)	教育研究所	
		13:30 ～14:45 (~15:00)	F17	講義・演習 「情報活用能力の育成」 (※リフレクション、休憩)	柏市教育委員会	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		15:00 ～16:15 (~16:30)	F19	講義・演習 「ICT 機器活用」 (※リフレクション、連絡)	柏市教育委員会	

回	実施日	時程	指標	テーマ	講師	会場
7	8/19 (火)	12:55 ～13:00	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		13:00 ～14:00 (~14:15)	B5 B6	講義・演習 「学習指導④学習指導と教科書」 (※リフレクション, 休憩)	教育研究所	
		14:15 ～16:15 (~16:30)	B5	講義・演習 「学習指導⑤単元づくりの実際」 (※リフレクション, 連絡)	柏市教育委員会	
8	8/20 (水)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		9:35 ～10:35 (~10:50)	A4	講義・演習 「学級における危機管理と安全配慮」 (※リフレクション, 休憩)	柏市教育委員会	
		10:50 ～11:50 (~12:05)	F18	講義・演習 「情報モラル・セキュリティ」 (※リフレクション, 連絡)	柏市教育委員会	
		13:30 ～15:00 (~15:15)	B6	講義・演習 「学習指導⑥授業の見とり方と改善の視点」 (※リフレクション, 休憩)	教育研究所	
		15:15 ～16:15 (~16:30)	D14	演習 「アクションプラン②2学期の展望」 (※連絡)	教育研究所	
9	8/25 (月)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		9:35 ～11:35 (~11:50)	C7 D11	講義・演習 「学級経営④話し合いができる学級のつくり方」 (※リフレクション, 連絡)	実践教育家 菊池 省三	
		13:00 ～16:15 (~16:30)	B5 B6 C10	講義・演習 「主体性を育む教育活動」 (※リフレクション, 連絡)	教育研究所	
授 ③	10月 ～11月	-	B6	授業実践研修③ 「授業の展開（訪問）」	柏市教育委員会	自 校
10	10/1 (水)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		9:35 ～11:40 (~11:55)	B5 D13	講義・演習 「健康教育の推進」「食育の推進」 (※リフレクション, 連絡)	柏市教育委員会	
		13:00 ～14:30 (~14:45)	C9	講義・演習 「児童生徒理解⑤子供の人権と学びの保障」 (※リフレクション, 休憩)	柏市教育委員会	
		14:45 ～16:15 (~16:30)	C8	講義・演習 「児童生徒理解⑥教育相談の基本」 (※リフレクション, 連絡)	SCSV 高井 千鶴	
11	11/5 (水)	9:30 ～9:50	-	研修ガイダンス 「2学期の振り返り」	教育研究所	沼南庁舎 市内学校 大会議室
		9:50 ～10:20 (~10:25)	D14	演習 「アクションプラン③プラスシュアップ」 (※休憩)	教育研究所	
		10:25 ～11:45 (~12:00)	D11	講義・演習 「学級経営⑤学級経営の評価・改善」 (※リフレクション, 連絡)	教育研究所	
		13:00 ～14:30 (~14:45)	E15 E16	講義・演習 「児童生徒理解⑦子供の強みをいかす授業づくり ～特別支援教育の視点から～」 (※リフレクション, 休憩)	教育研究所	
		14:45 ～16:15 (~16:30)	B6	講義・演習 「学習指導⑦子供の姿から考える授業改善」 (※リフレクション, 連絡)	教育研究所	

回	実施日	時程	指標	テーマ	講師	会場
12 2/4 (水)	2/4 (水)	9:30 ～9:35	-	研修ガイダンス	教育研究所	沼南庁舎 大会議室
		9:35 ～10:35 (～10:45)	D13	講義・演習 「児童生徒理解⑧子供の成長をつなぐ引継・連携の在り方」 (※リフレクション, 休憩)	教育研究所	
		10:45 ～11:45 (～11:55)	D14	協議 「アクションプラン④実践報告会」 (※連絡)	教育研究所	
		13:00 ～15:00 (～15:15)	A3	講義・演習 「学び続ける教職員として」 (※リフレクション, 休憩)	川村学園女子大学 教授 田中 聰	
		15:15 ～16:15	D14	演習 「1年間の振り返りと次年度の展望」	教育研究所	
		16:15 ～16:25 (～16:30)	A3	講話 及び 研修の振り返り (※連絡)	教育研究所長 教育研究所	

※講師や講師の所属、研修会場等は変更の可能性があります

4 校外研修の方法

(1) 全体集合研修について

ア 研修参加時の持ち物

- ① 筆記用具
- ② 名札（学校で使用しているもの）
- ③ 記録用ノート
- ④ バインダー
- ⑤ Chromebook

※毎回、必ず管理職の許可を得てから持参すること。

※事前に自分のgoogleアカウントで、ログインできるか確認しておくこと。

※校内でChromebookを割り当てられていない場合（小学校の低学年担任や中学校の副担任等）は、学校にある予備機等を持参すること。持ち出しができない場合は、事前に研修担当へ連絡すること。

- ⑥ その他指示があったもの

イ 留意点

- ① 受付時間

研修開始30分前～10分前まで

- ② 交通手段

原則として公共交通機関を利用する。

- ③ 昼食

各自持参もしくは会場周辺の飲食店等を利用すること。

ウ 欠席等の報告

- ① やむを得ず欠席・遅刻・早退等をする場合は、管理職が教育研究所研修担当に連絡する。（初任者による連絡は不可）
- ② 欠席届は、教育研究所ホームページまたはデジタル校務「ライブラリ」より共通様式1をダウンロードし作成する。「教育研究所長」宛に提出し、報告する。
- ③ 法に基づく悉皆研修のため、校内行事等と重なった場合は、原則研修を優先する。

エ レポート等の提出について

- ① 校外研修では様々な報告書等の提出が課せられる。
- ② ①については必ず管理職と指導教員の指導を受ける。
- ③ 提出先・提出期限を確認して提出する。
レポート内容に不備がないかよく確認してから提出すること。
- ④ 各種様式は、Plantよりダウンロードする。

(2) 授業実践研修（3日）について

ア 授業実践研修①「同校種授業参観」

① 目的

校外の優れた実践を参観し、自己の課題を明確にするとともに、授業の改善の方向性を見いだす。

② 実施例

例1) 柏市教科専門指導員等の授業参観、その他公開授業研究会参加

※協議会等がある場合は、可能な限り参加すること。

例2) 他校の授業参観（同校種）⇒ 校長裁量において実施

※授業者と授業の振り返りができることが望ましい。

③ 研修実施の流れ



④ 提出様式

ア 「同校種授業参観」実施依頼書（初任研_様式6）

必要な場合は、研修日の1ヶ月前までに研修先の校長へ提出する。

イ 「同校種授業参観」振り返り（初任研_様式3）

校長の指導を受け、研修終了後2週間以内にPlant初任者研修_「同校種授業参観」フォルダに課題提出を行う。【最終締切2月13日(金)】

⑤ 留意点

ア 研修対象者は自校の校長の指導を受け、研修先の選定や依頼を計画的に行うこと。

イ 近隣での研修先の選定や依頼が困難な場合、早めに研修担当へ連絡すること。

ウ 研修先の学校・園とは打ち合わせを十分に行い、迷惑や失礼がないよう心がけること。また、研修後の挨拶やお礼を忘れないこと。

⑥ 実施時期

6月～1月で1回

※小学校は後補充を配置する。後補充の勤務時間は原則1日7時間とする。

イ 授業実践研修②「授業の展開（道徳）」

① 目的

本時のねらいと評価を明確にした指導案を作成し、学年内や校内で検討した上で授業を実践し、協議会にて改善の視点を見いだす。原則、道徳の授業を実施すること。

② 指導・助言者

学年教員や校内指導教員等

※指導教員のみにはならないこと。

※外部講師を頼んでもよいが、校内の教員も関わること。

③ 実施時期

6月～1月で1回

※小学校は後補充を配置する。後補充の勤務時間は原則1日7時間とする。

④ 実施報告

実施後2週間以内に「授業の展開（道徳）」振り返り（初任研様式4）を作成、

Plant初任研_「授業の展開（道徳）」フォルダに課題提出【最終締切2月13日（金）】

ウ 授業実践研修③「授業の展開（訪問）」について

① 目的

単元及び本時のねらいと評価を明確にして指導計画を作成・実践する。指導主事等からの指導助言を受けて、改善の視点を見いだす。

② 実施方法

ア 実施教科は**道徳以外**とする。

イ 授業展開日**5日前まで（休日は除く）**に、**学習指導略案（共通様式2）**をPlant初任研_「初任授業の展開（訪問）」フォルダに課題提出する。

ウ 指定された日時に指導主事等訪問のもと、授業展開を行う。

エ 展開後、30分程度指導主事等から指導助言を受ける。

原則、校内研修の協議会と兼ねることができない。

オ 当日に「基本のチェックリスト」（事前に記入済みのもの）を提出する。

※**指導主事等は、初任者に指導後、管理職との面談を行う。**

③ 実施時期

10月～11月（後日、教育研究所より連絡）

※受講者の人数等によっては9月下旬・12月上旬になることもある。

※小学校は後補充を配置する。後補充の勤務時間は原則1日7時間とする。

5 提出書類様式一覧

初任者研修 提出物一覧

様式No.	名称	提出期限	作成者	提出方法
初任研様式1	[B研修] 年間指導計画書	5月13日（火）	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式2	校内研修体制報告書	5月13日（火）	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式3	授業実践研修① 「同校種授業参観」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切2月13日（金）】	受講者	【Plant】初任研 「同校種授業参観」フォルダ
初任研様式4	授業実践研修② 「授業の展開（道徳）」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切2月13日（金）】	受講者	【Plant】初任研 「授業の展開（道徳）」フォルダ
初任研様式5	年間指導報告書	3月3日（火）	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式6	「同校種授業参観」依頼書	必要に応じて 使用	校長	研修先所属長 宛
共通様式2	授業実践研修③ 「授業の展開（訪問）」指導略案	訪問日5日前まで (休日を除く)	受講者	【Plant】初任研 「授業の展開（訪問）」フォルダ

※ 様式1・5はひとつの同じExcelファイルで、様式ごとにワークシートが分かれている。

ファイル内で入力内容が連動されるため、分離等はせず使用・提出すること。

担当 当 教育研究所

電話 04-7191-7387

事業番号	3810602
------	---------

令和7年度（柏市）2年目研修 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第21条第2項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市人材育成指標に基づき、柏市の年次研修の一環として、教職2年目となる教諭に対して実践的指導力と使命感の育成及び向上を図るとともに、個々が持つ課題の解決に向け、幅広い知見を自ら得にいく姿勢を育むことを目的とする。

2 対象

- (1) 柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、原則として採用2年目の教諭とする。
- (2) 養護教諭及び養護助教諭、学校栄養職員及び栄養教諭、市立高等学校の教諭については、千葉県教育委員会に依頼し実施する。

3 研修内容

- (1) オンデマンド研修（1回）
- (2) 校内研修（6回）
- (3) 校外研修（1回）

※夏季特別研修では指定講座を受講する。指定講座受講後の時間で全体研修。

- (4) 授業実践研修（2回）
 - ① 教科授業の展開（校内）
 - ② 他校種交流研修

4 年間計画

回	実施日	実施時刻	指標	主題・内容	講師	会場
オンデマンド	5月中 に視聴	1時間程度	D14	2年目研修の進め方	教育研究所	自校
1	8/1(金)	13:30 ～15:30	A4 C9	夏季研修講座（10） 「性別違和や性的指向・性自認に係る児童生徒への対応について」	未定	アミュゼ柏 クリスタル ホール
	8/1(金)	15:40 ～16:15 （～16:30）	D14	協議 「（仮）教育活動の振り返り」 (※連絡)	教育研究所	
授1	5月～ 1月	-	B5 B6	授業実践研修① 「教科授業の展開（校内）」	自校の 中堅教諭等	自校
授2	5月～ 1月	-	C7 D13	授業実践研修② 「他校種交流」	体験先教諭 ・管理職等	市内各校 ・各園

※講師や講師の所属等は変更の可能性があります。

5 実施方法

(1) オンデマンド研修（1回）

- ・視聴方法等詳細は、4月に文書にて通知する。
- ・管理職と相談の上、オンデマンド研修を受講する日程を5月中に設定する。
- ・オンデマンド視聴及び「研修計画書（2年目研_様式1）」作成で1時間を予定している。

(2) 校内研修（6回）

個々が持つ課題の解決に向け、幅広い知見を得にいく研修

※詳細は、オンデマンド研修で説明します。

① 研修を計画する。

(i) 「研修計画書（2年目研_様式1）」を作成する。

(ii) 計画書の作成後、校長の指導・承認を受け、Plant2年目研_「研修計画書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期間 5月12日（月）～6月13日（金）】

② 研修を実施する。

③ 研修を報告する。

(i) 実施した内容について、「研修報告書（2年目研_様式2）」を作成する。

(ii) 報告書の作成後、校長の指導・承認を受け、Plant2年目研_「研修報告書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期間 2月2日（月）～2月13日（金）】

(3) 校外研修（1回）

・受付時間

研修開始30分前～10分前まで

・持ち物

名札（学校で使用しているもの）、要項（Plantよりダウンロード）、筆記用具、記録用ノート、バインダー、その他指定されたもの

(4) 授業実践研修（2回）

① 「教科授業の展開（校内）」

〈ねらい〉

単元でつけたい力を明確にした単元計画を作成し、実践と振り返りを通して、自身で授業改善の視点を見いだす。

自校において、上記ねらいのもと、中堅研教員の参加による教科（※道徳不可）の研究授業を実施し、管理職または校内の中堅研教員等を助言者として、協議会を行う。

(i)実施の流れ

	2年目研修	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ
位置付け	2年目研修 授業実践研修	ミドルリーダー研修
目的	自校の中堅研Ⅰ受講者に指導・助言をもらい成果と課題を共有するとともに、課題解決を図る。	若手への指導・助言を通してミドルリーダーとしての資質能力の向上を図る。
実施方法	①指導案検討時に指導・助言をしてもらう ②授業展開 ③授業後協議会 ④教育課題の共有	①指導案検討における指導・助言 ②授業参観 ③授業後協議会の助言 ④教育課題への指導・助言
実施時期	5月～1月	

実施例

①	中堅研Ⅰ受講者がいない場合	例1) 中堅研Ⅰ受講者に近い経験者が指導・助言を行う。 例2) 校長が推薦した教諭が指導・助言を行う。
②	2年目研修受講者が複数の場合	例1) 中堅研Ⅰ受講者が全ての2年目に指導・助言を行う。【複数回】 例2) 2年目が複数で中堅研Ⅰ受講者が1名の場合、校長が推薦した教諭とチームを作つて指導・助言を行う。

(ii)実施後の報告

実施後、下記のとおり報告書を提出する。【最終締切 2月13日（金）】

2年目研_ 様式3	授業実践研修① 「教科授業の展開（校内）」報告書	実施後 2週間以内	Plant2年目研_ 「授業の展開（校内）」フォルダ
--------------	-----------------------------	--------------	-------------------------------

② 他校種交流研修（1回）

＜ねらい＞

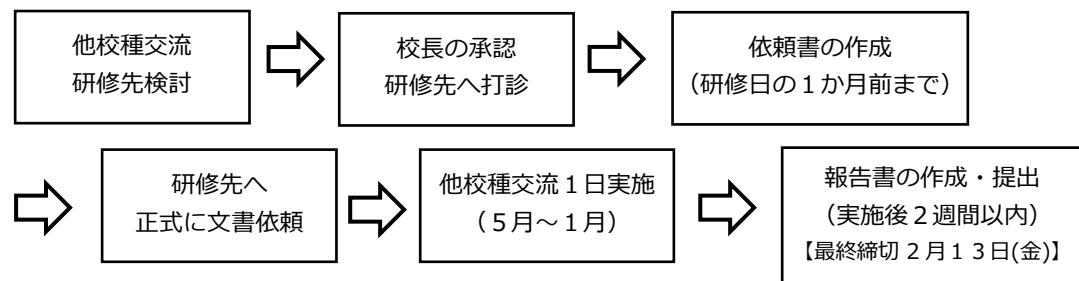
発達段階に応じた指導について学び、幼保こ小接続、小中接続、中高接続について理解を深める。

小学校 → 近隣の幼稚園・保育園・こども園 もしくは 近隣の中学校、特別支援学校等での

参観・体験(1日)

中学校 → 近隣の小学校 もしくは 近隣の高等学校、特別支援学校等での参観・体験(1日)

(i)研修実施の流れ



※可能であれば、研修先で授業・活動を実践する。

(ii)提出様式

- ア 「他校種交流研修」実施依頼書（2年目研_様式4）
研修日の1ヶ月前までに研修先の校長または園長へ提出する。
- イ 「他校種交流研修」振り返り（2年目研_様式5）
校長の指導を受け、研修終了後2週間以内にPlant 2年目研修_「他校種交流研修」フォルダに課題提出を行う。

(iii)留意点

- ア 研修対象者は自校の校長の指導を受け、研修先の選定や依頼を計画的に行うこと。
- イ 近隣での研修先の選定や依頼が困難な場合、早めに研修担当へ連絡すること。
- ウ 研修先の学校・園とは打ち合わせを十分に行い、迷惑や失礼がないよう心がけること。また、研修後の挨拶やお礼を忘れないこと。

6 書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
2年目研_様式1	研修計画書	5月12日(月)～ 6月13日(金)	受講者	Plant 2年目研 「研修計画書」フォルダ
2年目研_様式2	研修報告書	2月2日(月)～ 2月13日(金)		Plant 2年目研 「研修報告書」フォルダ
2年目研_様式3	授業実践研修① 「教科授業の展開(校内)」報告書	実施後2週間以内 【最終締切 2月13日(金)】		Plant 2年目研 「授業の展開(校内)」フォルダ
2年目研_様式4	授業実践研修② 「他校種交流研修」実施依頼書	実施日1か月前まで		研修先所属長宛
2年目研_様式5	授業実践研修② 「他校種交流研修」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切 2月13日(金)】		Plant 2年目研 「他校種交流研修」フォルダ

※ 各種様式は、Plantよりダウンロードする。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387

事業番号	3810603
------	---------

令和7年度（柏市）3年目研修 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第21条第2項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市人材育成指標に基づき、柏市の年次研修の一環として、教職3年目となる教諭に対して実践的指導力と使命感の育成及び向上を図るとともに、幅広い知見を得させることを目的とする。また、個々が持つ課題の解決に向けた実践の整理・分析を通して、新たな視点・気付きを得ることで、これからの中等教育実践へ見通しを持たせる。

2 対象

- (1) 柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、原則として採用3年目の教諭とする。
- (2) 養護教諭及び養護助教諭、学校栄養職員及び栄養教諭、市立高等学校の教諭については、千葉県教育委員会に依頼し実施する。

3 研修内容

- (1) 校外研修（3回）
 - ① 全体集合研修（2回）
 - ② アクションプラン実践報告会（指定日集合研修）（1回）
- (2) 授業実践研修（1回）
- (3) アクションプラン実践研修

4 年間計画

回	実施日	実施時刻	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/27 (火)	9:40 ～9:45	-	ガイダンス	教育研究所	さわやか かちば 大研修室 県民プラザ
		9:45 ～11:45 （～12:00）	B5 B6	講義・演習 「個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実を実現する単元づくり」 （※リフレクション・休憩）	山梨大学 准教授 三井 一希	
		13:15 ～14:30 （～14:45）	D12	講義・演習 「校務分掌から見る教育課程」 （※リフレクション・休憩）	教育研究所	
		14:45 ～16:15 （～16:30）	D14	講義・演習 「アクションプラン①プラン作成」 （※連絡）	教育研究所長 教育研究所	
2	8/6 (水)	9:40 ～11:40 （～11:55）	D14	講義・演習 「アクションプラン②ブラッシュアップ」 （※連絡）	教育研究所	
3	1/22(木) 1/23(金) 1/28(水) ※いずれか1日	9:00 ～12:00 又は 13:30 ～16:30	D14	報告会・講義・演習 「アクションプラン③実践報告会」	教育研究所長 教育研究所	沼南会議室
年間通してアクションプランを校内で実践						
授	5月～1月	-	B5 B6	授業実践研修 「授業の展開（校内）」	管理職・ 校内外講師等	自校

※講師や講師の所属等は変更の可能性があります。

5 実施方法

(1) 校外研修（3回）

- ・受付時間

研修開始 30 分前～10 分前まで

- ・持ち物

名札（学校で使用しているもの）、要項（ダウンロードしたもの）、筆記用具、記録用ノート、バインダー、指定されたもの、その他（昼食等）

- ・その他

アクションプラン実践報告会の詳細については、文書にて通知する。

(2) 授業実践研修（1回）

＜ねらい＞

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の視点から単元計画を作成し、実践と振り返りを通して、授業改善の視点を見い出すこと。

自校において、上記ねらいのもと、各教科から一つ選択し、他の教員の参加による研究授業を実施し、管理職または校内の他の教員あるいは校外講師を助言者として協議会を行う。

«校外講師を助言者とする場合»

【校外講師の申請時の指導案提出について】

授業実践研修において校外講師を要請する場合は、指導案作成後、管理職の指導を受け、授業日の10日前（柏市教育委員会は5日前）まで（休日は除く）に校外講師へ提出する。

【校内授業研究会 授業者の場合について】

校内授業研究会において授業者の場合、授業実践研修と兼ねてもよい。

ただし、上記のねらいが達成できるよう、校内授業研究会のねらいや方法等を検討すること。

【実施後の報告】

下記のとおり報告書を提出する。【最終締切 2月13日（金）】

3年目研_ 様式3	授業実践研修 「授業の展開（校内）」報告書	実施後 2週間以内	Plant 3年目研_ 「授業の展開（校内）」フォルダ
--------------	--------------------------	--------------	--------------------------------

(3) アクションプラン実践研修

詳細は、校外研修で説明します。

6 書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
3年目研_ 様式 1	アクションプランシート	5月27日（火）～ 6月20日（金）	受講者	・Plant 3年目研 「アクションプラン」フォルダ ・Classroom ※2カ所に提出
3年目研_ 様式 2	アクションプラン ブラッシュアップシート	8月6日（水）～ 8月29日（金）		Classroom
3年目研_ 様式 3	授業実践研修 報告書 「授業の展開(校内)」	実施後2週間以内 【最終締切2月13日（金）】		Plant 3年目研 「授業の展開」フォルダ
3年目研_ 様式 4	アクションプラン実践報告書	1月8日（木）		Plant 3年目研 「アクションプラン実践報告書」フォルダ

※ 各種様式は、Plant よりダウンロードする。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第24条第1項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市の年次研修の一環として、当該教諭等に対して、個々の能力や適性等に応じて教科指導や生徒指導等に関する実践的指導力の向上を図るとともに、校務の推進における企画力や運営力の育成を図る。

2 対象

(1) 悉皆対象

柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、原則として、採用より10年目（2016年度採用）のものが受講対象者となる。

※育休や産休、療休等の取得により、過去の経験者研修に未受講がある場合、教育研究所に確認をしてから申込をする。

(2) 任意対象

柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、採用より9年目（2017年度採用）、及び8年目（2018年度採用）のもので、諸事情により令和7年度の受講を強く希望するものは、受講を可とすることがある。教育研究所に事前連絡の上、Plantで申込をする。

※悉皆対象の人数によっては、その限りではない。

(3) 受講対象外

- ・養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭（千葉県教育委員会に依頼し実施）
- ・管理職、主幹教諭
- ・指導主事、社会教育主事その他教育委員会の事務局において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有するもの
- ・すでに中堅教諭等資質向上研修Ⅰを受講済のもの
- ・その他柏市教育委員会で認めるもの

3 研修内容

(1) オンデマンド研修（1回）

(2) 校外研修（5回）

① 必修単位（3回）

ア 全体集合研修（2回）

イ アクションプラン実践報告会（指定日集合研修）（1回）

② 選択単位（2回）

(3) 校内研修

ア ミドルリーダー研修

イ 授業実践研修

(4) アクションプラン実践研修

4 年間計画

回	実施日	時間	指標	主題・内容	講師	会場
オンデマンド	4月中に視聴	2 時間程度	D14	オンデマンド研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰの進め方 ・アクションプラン実践研修の進め方 ※動画視聴後に管理職と面談の上、 テーマを設定する。	教育研究所	自校
1	5/13 (火)	13:30 ~16:30	A1 D12 D14	講義・演習 「アクションプラン① プランの作成」	横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 教育研究所長 教育研究所	県民プラザ さわやかちば 大研修室
選 ① ②	夏季特別研修より2回受講 ※次ページ5(2)②選択単位について 参照					
2	8/6 (水)	13:00 ~16:30	D12 D14	講義・演習 「アクションプラン② ブラッシュアップ」	横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 教育研究所	県民プラザ さわやかちば 大研修室
3	1/27 (火) 1/29 (木) 1/30 (金) いずれか	9:00 ~12:00 又は 13:30 ~16:30	A3 D12 D13 D14	報告会・講義・演習 「アクションプラン③ 実践報告会」	横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 教育研究所長 教育研究所	沼南庁舎大会議室
年間を通してアクションプランを校内で実践						
校内研修	5月～1月		D12 D14	ミドルリーダー研修		自校
	5月～1月		B5 B6	授業実践研修	校外講師	自校

※講師や講師の所属等は変更の可能性があります。

5 実施方法

(1) オンデマンド研修について

- ・視聴方法等詳細は、4月に文書にて通知する。
- ・管理職と相談の上、オンデマンド研修を受講する日程を4月中に設定する。
- ・オンデマンド視聴及びテーマ設定（管理職との面談含む）で2時間を予定している。
(オンデマンド視聴とテーマ設定日を分けててもよい)

(2) 校外研修について

① 必修単位

- ・受付時間
研修開始30分前～10分前まで

- ・持ち物
名札（学校で使用しているもの）、要項（Plantよりダウンロード）、筆記用具、記録用ノート、バインダー、その他指定があったもの

- ・その他
アクションプラン実践報告会の詳細については、文書にて通知する。

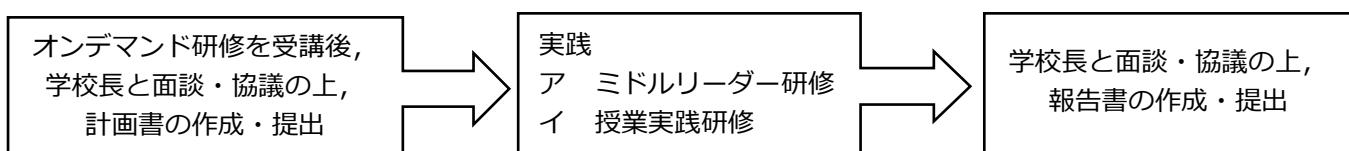
② 選択単位

夏季特別研修より2回受講

- ・「夏季休業中の特別研修（柏市教職員が悉皆で受講する研修講座）」について、上記選択単位と兼ねることができる。
- ・夏季研修講座（5）・（6）は中堅研受講者優先講座
- ・自己研鑽として3回以上選択してもよい。
- ・申し込みはPlant（6月）

(3) 校内研修について

校内研修の流れ



校内での研修を自分でマネジメントし、研修を計画する。

① 「研修計画書」の作成・提出について

【計画書】中堅教諭等資質向上研修Ⅰ「研修計画書」(中堅研_様式1)

<作成者：校長及び研修者>

- A) 学校長等と研修者で面談・協議を行い、中堅教諭として求められる資質能力や、より伸ばしたい優れた点、改善し力をつけたい点等、必要と考えられる研修内容について共通理解を図り課題形成を行う。
- B) A)を踏まえた上で自身のミドルリーダーとしての課題を明確にする。
- C) B)を踏まえた上で校内研修計画を作成する。
- D) 学校長は、計画書の内容を確認し、「研修者へ期待する成果」を入力する。
- E) Plant中堅研_「研修計画書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期間 5月13日（火）～6月13日（金）】

② 校内研修の実施について

ア ミドルリーダー研修

2年目研のメンターとして、若手の授業づくりと若手が抱える教育課題について指導・助言を行う。

	2年目研修	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ
位置づけ	2年目研修 授業実践研修	ミドルリーダー研修
目的	自校の中堅研Ⅰ受講者に指導・助言をもらい、成果と課題を共有するとともに、課題解決を図る。	学校の若手の課題解決に向けて、指導・助言を行うとともに、ミドルリーダーとしての役割を自覚する。
実施方法	①指導案検討時に指導・助言をしてもらう ②授業展開（道徳以外） ③授業後協議会 ④教育課題の共有	①若手の指導案検討における指導・助言 ②授業参観 ③授業後協議会の助言 ④若手の教育課題への指導・助言
実施時期		5月～1月

【実施例】

①	2年目がない場合	例1) 講師・初任者・3年目など若手教諭への指導・助言を行う。 例2) 同一学年や同一教科の若手教諭への指導・助言を行う。
②	2年目が複数の場合	例1) 中堅研Ⅰ受講者が全ての2年目に指導・助言を行う。【複数回】 例2) 校長が推薦した教諭とチームを作つて指導・助言を行う。

イ 授業実践研修

学校の授業課題解決に向けて、指導案の検討会、実践授業、授業後の協議会を計画し、実施する。

※原則、校外講師の指導を受ける。

【授業実践に校外講師を要請する場合】

授業実践において、校外講師を要請する場合は、指導案作成後、管理職の指導を受け、授業日の10日前（柏市教育委員会は5日前）まで（休日は除く）に校外講師へ提出する。また、校外講師を要請する場合は、市や県の指導主事に限定せず、近隣の学校教職員、教職経験者や大学の職員など、広く校外の人材を活用する。

③ 「研修報告書」の作成について

【報告書】中堅教諭等資質向上研修Ⅰ「研修報告書」(中堅研_様式5)

＜作成者：校長及び研修者＞

- A) 研修実施後、「研修報告書」を作成する。
- B) 研修報告書を基に、校長等と面談・協議を行い、自身の成果や今後の展望等について共有する。
- C) 校長に総合所見欄を入力してもらい、最終確認を受ける。
- D) **Plant**中堅研_「研修報告書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期間 1月27日（火）～2月13日（金）】

(4) アクションプラン実践研修

詳細は、オンデマンド研修・校外研修で説明します。

6 提出書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
中堅研_様式1	研修計画書	5月13日（火）～ 6月13日（金）	受講者	Plant 中堅研 「研修計画書」フォルダ
中堅研_様式2	アクションプランシート	5月13日（火）～ 6月13日（金）		Classroom
中堅研_様式3	アクションプラン ブラッシュアップシート	8月6日（水）～ 8月29日（金）		Classroom
中堅研_様式4	アクションプラン実践報告書	1月8日（木）		Plant 中堅研 「アクションプラン実践報告書」フォルダ
中堅研_様式5	研修報告書	1月27日（火）～ 2月13日（金）		Plant 中堅研 「研修報告書」フォルダ

※ 各研修様式は、**Plant**よりダウンロードする。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）中堅教諭等資質向上研修 plus 実施要項

1 目的

教員免許更新制の発展的解消に伴い、旧中堅教諭等資質向上研修の修了者が専門研修を受講するまでの間に補足的に行う研修とする。教員としての資質、指導力の向上を図るとともに、柏市の若手教員の人材育成に関わる。

2 対象

(1) 悉皆対象

公立学校教諭として令和2年度以降に20年目に達した教諭。

対象者は2006年度採用の教諭。

ただし、2001～2005年度採用で本研修を受講していない教諭も対象となる。

(2) 受講対象外

- ・管理職、主幹教諭、養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭
- ・臨時的に任用されたもの
- ・指導主事、社会教育主事その他教育委員会の事務局において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有するもの
- ・すでに中堅教諭等資質向上研修I（令和2年度より実施）を受講したもの
- ・過去に免許状更新講習を2度受講したもの
- ・その他柏市教育委員会が認めたもの

3 研修内容

校外研修（1講座受講）

- (1) 夏季特別研修から1講座選択し受講する。
- (2) 中堅教諭等資質向上研修plusの報告書を提出する。
(中堅研plus_様式1)を作成し、Plantにて提出

4 研修方法

校外研修

(1) 研修の申込

- ① Plant（4月）申込において、柏市の中堅教諭等資質向上研修plus（3810605）の申込を行う。この時点では、受講を希望する講座の選択は行えない。
- ② Plant（6月）申込において、受講を希望する講座を選択し申込を行う。

夏季特別研修から1講座を選択し受講する。

なお、当該講座による受講を、夏季休業中の悉皆研修と兼ねることができる。

※講座内容や実施日については、「V特別研修（P.87,88）」参照

(2) 研修の受講

(3) 研修の報告

- ① 実施した内容について、「研修報告書（中堅研plus_様式1）」を作成する。
- ② 報告書の作成後、校長の指導・助言を受けPlant中堅研plus_「研修報告書」フォルダに課題提出する。

5 提出書類

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
中堅研 plus_ 様式 1	中堅教諭等資質向上研 修 plus 研修報告書	9月12日（金）	受講者	Plant中堅研 plus_「研修報告書」 フォルダ

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

事業番号	3810606
------	---------

令和7年度（柏市）専門研修 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第21条第2項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市人材育成指標に基づき、柏市の年次研修の一環として、教科等に関する専門的指導力や、教育課題に関する専門性の向上及び自らの資質能力の向上を目指し、「学び続ける教職員」を支援するため実施する。

2 対象

柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、採用から29年目（1997年度採用）、30年目（1996年度採用）のものとする。

※採用から29年・30年目のうち、いずれか1年間受講する。

＜受講対象外＞

- ・養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭（千葉県教育委員会に依頼し実施）
- ・管理職、主幹教諭
- ・指導主事、社会教育主事その他教育委員会の事務局において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有するもの
- ・すでに専門研修を受講済のもの
- ・その他柏市教育委員会が認めたもの

3 研修内容

校外研修（1講座受講）

(1) 夏季特別研修から1講座選択し受講する。

(2) 専門研修の報告書を提出する。

（専門研_様式1）を作成し、Plantにて提出

4 研修方法

校外研修

(1) 研修の申込

① Plant（4月）申込において、柏市の専門研修（3810606）の申込を行う。この時点では、受講を希望する講座の選択は行えない。

② Plant（6月）申込において、受講を希望する講座を選択し申込を行う。

夏季特別研修から1講座を選択し受講する。

なお、当該講座による受講を、夏季休業中の悉皆研修と兼ねることができる。

※講座内容や実施日については、「V特別研修（P.87,88）」参照

(2) 研修の受講

(3) 研修の報告

① 実施した内容について、「研修報告書（専門研_様式1）」を作成する。

② 報告書の作成後、校長の指導・助言を受けPlant専門研_「研修報告書」フォルダに課題提出する。

5 提出書類

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
専門研_様式1	専門研修 研修報告書	9月12日（金）	受講者	Plant専門研_「研修報告書」 フォルダ

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

新任校長研修

1 令和7年度（柏市）小中学校 新任校長研修 実施要項

(1) 目的

組織的で探究的な学びについての講義・演習・協議、及び、研修後の成果活用を通して、学校が直面する課題に組織として対応するために、特色ある教育活動を自律的に展開し、教職員や学校の学びを高め、学校経営力や課題解決力の向上を目指す。

(2) 対象

柏市立小中学校に勤務する校長のうち、新任の者とする。

新任者以外でも受講を希望する場合は、講座の全部または一部を受講することができる。

(3) 研修方法及び内容

学校経営に関する講義・演習と実践発表等について、4回の集合研修及び2回の学校訪問を行う。

2 校外研修年間計画

回	期日	時程	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/23 (水)	13:00 ～13:20	A1	講話 「新任校長に期待すること」	柏市教育長	沼南庁舎 501会議室
		13:20 ～14:20	A1	講義・演習 「学校のリスクマネジメントの展開」	教職員課	
		14:30 ～15:30	A2	講義・協議 「新しい時代の教職員集団の在り方」	児童生徒課	
		15:30 ～16:00	A3	協議 「学校ビジョンの実現に向けた取組」を考える	教育研究所	
		16:00 ～16:30	D14	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当	
	4月中 <u>eラーニング</u>	ONITS動画 94 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(24分) 101 「学校の内外環境の分析と特色づくり」(17分) 102 「学校ビジョンの理解と共有」(23分)			自校	
訪①	5～7月		D11	学校訪問①	人材育成AD	自校
2	6/20 (金)	9:15 ～11:45	D11 D12	講義・協議 「共通ビジョンの形成とWell-beingな学校づくり」	信州大学特任教授 青木一	沼南庁舎 501会議室
		13:00 ～16:00	D11 D12 D13	講義・協議 「共有ビジョンづくりと同僚性・協働体制」	信州大学特任教授 青木一	
		16:00 ～16:30	D14	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当	

※2年目校長研修と合同開催						
3	8/27 (水)	9:00 ~10:20	A1	前口上 落語鑑賞 「百年目」	信州大学特任教授 青木 一 真打 瀧川 鯉橋	沼南庁舎 大会議室
		10:30 ~12:00	D11 D12 D13	傾聴・協議 「共有ビジョンを具現化する方策 ～先輩に学ぶ学校経営～」	教育研究所長 人材育成AD	
		13:00 ~15:00	D11 D12 D13	発表・協議 「学校戦略MAPから捉える成果と課題」	教育研究所長 人材育成AD	
		15:10 ~16:00	D11 D12 D13	協議・発表 「協働的な動きを創るとは」	人材育成AD	
		16:00 ~16:30	D14	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当	
訪②	10~12月	D11	学校訪問②			人材育成AD 自校
※新任教頭研修と合同開催						
4	1/16 (金)	13:30 ~16:30	D11 D12 D13	実践発表 「自校の共有ビジョンに基づく協働体制」	人材育成AD	沼南庁舎 大会議室
			A3	講義 「今管理職に求められる新たな生き方改革」	信州大学特任教授 青木 一	
		D14	リフレクション 「ビジョンを具現化する組織の省察と次年度への見通し」 諸連絡			

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

3 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

4 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務等を通じて連絡いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当	教育研究所
電話	04-7191-7387

2年目校長研修

1 令和7年度（柏市）小中学校 2年目校長研修 実施要項

(1) 目的

学校が直面する課題に組織として対応するために、新任校長・2年目校長との協議を通して、協働的な組織体制について考え、学校経営力や課題解決力の向上を目指す。

(2) 対象

柏市立小中学校に勤務する校長のうち、校長経験2年目の者とする。

(3) 研修方法及び内容

学校経営に関する実践発表・協議及び講義について、1回の集合研修（※新任校長と合同研修）及び2回の学校訪問を行う。

2 校外研修年間計画

回	期日	時程	指標	主題・内容	講師	会場
訪①	5~7月		D11	学校訪問①	人材育成AD	自校
※新任校長研修と合同開催						
1 8/27 (水)	9:00 ~10:20	A1	前口上	信州大学特任教授 青木 一		沼南庁舎 大会議室
			落語鑑賞 「百年目」	真打 瀧川 鯉橋		
	10:30 ~12:00	D11 D12 D13	発表・協議 「共有ビジョンを具現化する方策」	教育研究所長 人材育成AD		
			傾聴・協議 「新任校長の学校戦略MAPから捉える協働体制」	教育研究所長 人材育成AD		
	13:00 ~15:00	D11 D12 D13	協議・発表 「協働的な動きを創るとは」	人材育成AD		
	15:10 ~16:00	D11 D12 D13	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当		
	16:00 ~16:30	D14				
訪②	10月~12月		D11	学校訪問②	人材育成AD	自校

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

3 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

4 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務等を通じて連絡いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387

事業番号	3810609
------	---------

新任教頭研修

1 令和7年度（柏市）小中学校 新任教頭研修 実施要項

(1) 目的

教頭として学校組織マネジメント研修を中心に実施し、円滑に学校運営が進められるよう
に管理職としての資質・能力を育成する。また、**校長としての視点**を意識することによ
り、学校経営力の向上を図る。

(2) 対象

柏市立小中学校に勤務する教頭のうち、新任の者とする。

新任者以外でも、受講を希望する場合は講座の全部または一部を受講することができる。

(3) 研修方法及び内容

学校運営に関する講義・演習と実践発表等について、5回の集合研修を行う。

2 校外研修年間計画

回	期日	時程	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/9 (金)	9:30 ～9:45	-	講話 「新任教頭に期待すること」	柏市教育長	沼南庁舎 大会議室
		9:50 ～10:50	D12	講義・協議 「事務職員との連携・協働の必要性と実現に向けて」	人材育成AD 市内事務長	
		11:00 ～12:00	A3	講話 「先輩からの事例に学ぶ」～人材育成の視点から～	市内教頭	
		13:00 ～15:00	A2	講義・協議 「学校に起こる諸問題への対応」	信州大学特任教授 青木 一 人材育成AD	
		15:10 ～16:10	D11	発表・協議 「教頭としての1年間の見通しをもつ」	柏市教育委員会	
		16:10 ～16:30	D14	リフレクション 諸連絡	教育研究所	
2	7/25 (金)	※リーダーセミナーと合同開催				
		9:00 ～12:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「情報収集」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	ラコルタ柏 集会室
		13:00 ～16:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「分析」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	
		16:00 ～16:30	D14	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当	
3	8/29 (金)	※リーダーセミナーと合同開催				
		9:00 ～12:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「構想」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	沼南庁舎 大会議室
		13:00 ～16:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「企画」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	
		16:00 ～16:30	D14	リフレクション 諸連絡	人材育成AD 教育研究所担当	

		※リーダーセミナーと合同開催				
4	12/25 (木)	9:00 ~12:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「実行」		東洋大学 准教授 葛西 耕介
		13:00 ~16:00	D11 D12 D13	リーダーセミナー 講義・演習 「判断」		東洋大学 准教授 葛西 耕介
		16:00 ~16:30	D14	リフレクション 諸連絡		人材育成AD 教育研究所担当
		※新任校長研修と合同開催				
5	1/16 (金)	13:30 ~16:30	D11 D12 D13	「新任校長の実践発表から学ぶ」		人材育成AD
			D14	リフレクション 「1年間の省察と次年度への見通し」 諸連絡		人材育成AD 教育研究所担当

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

3 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

4 その他

- (1) リーダーセミナーと合同で実施する。
新任教頭は「リーダーセミナー」も併せてPlantで申しこむこと。
- (2) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (3) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (4) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務等を通じて連絡いたします。
- (5) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

新任教務主任研修

1 令和7年度（柏市）小中学校 新任教務主任研修 実施要項

(1) 目的

管理職の視点を持ったミドルリーダーとして、マネジメントが浸透した学校とするために必要な力量を高める。

(2) 対象

柏市立小中学校に勤務する教務主任のうち、新任の者とする。

新任者以外でも、受講を希望する場合は講座の全部または一部を受講することができる。

(3) 研修方法及び内容

教育課程運営に関する講義・演習について、2回の校外研修を行う。

2 校外研修年間計画

回	期日	時程	指標	主題・内容	講師	会場
1	8/26 (火)	13:30 ~16:30	D11 D12 D14	協議 「自校の教育課程について考える」 講義・協議 「教務主任の役割」	教育研究所	沼南庁舎 501会議室
2	1/15 (木)	13:30 ~16:30	D11 D12 D13 D14	講義・協議 「教育課程の改善方法を考える」	教育研究所	沼南庁舎 501会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

3 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

4 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務等を通じて連絡いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）小中学校 特別支援教育新任担当教員等研修 実施要項

1 目的

柏市における小中学校特別支援学級を新たに担任する者の研修として、特別支援学級における児童・生徒への指導・支援の基本を身につける。

2 対象

柏市立小中学校に勤務する教諭等（講師を含む）のうち、初めて特別支援学級を担任する者とする。新任者以外でも、受講を希望する場合は、講座の全部または一部を受講することができる。

3 内容

校外研修5回・校内研修3種類を合わせて行う。

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/7 (月)	14:00 ~14:10	A1 開講式	児童生徒課長	沼南庁舎 大会議室
		14:10 ~16:30	C7 E16 【講義・演習】 「特別支援学級における学級経営」 「特別支援学級における教育課程」	柏市教育委員会	
2	5/28 (水)	13:30 ~16:20	A2 B5 C10 【講義・演習】 「特別支援学級の指導・支援」	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室
		16:20 ~16:30	A3 研修の振り返り・諸連絡	柏市教育委員会	
3	7/29 (火)	10:00 ~12:00	E15 E16 【講義】 「自立活動の実際の指導～ボディ パーカッションをとおして～」（仮）	千葉県立 柏特別支援学校 新垣 賢一 氏	アミュゼ柏 クリスタル ホール
4	9月 ～ 11月	13:30 ~16:20	B5 C7 【実習（参観）】 「特別支援学級参観と協議」	市内特別支援 学級担任	市内小中学校
		16:20 ~16:30	A3 研修の振り返り・諸連絡	柏市教育委員会	
5	2/3 (火) 2/6 (金)	13:30 ~15:50	D14 【発表・協議】 「私の教育実践」	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室
		16:00 ~16:30	A1 閉講式	児童生徒課長	

校外研修（全5回）

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

校内研修（3種類）

期日	主題・内容	講師
通年 1日（6時間） ×2回以上	特別支援学級における指導や支援について、勤務校における実際の教育活動を通して指導を受ける。	特別支援教育巡回相談員等

A 特別支援教育実践力研修（巡回相談）

※巡回相談は、9：45～16：30を基本とする。

※「巡回相談時程表」（デジタル校務支援システムのライブラリ内）に学習予定を記入の上、当日巡回相談員へ渡す。

※初回の日程は担当より提示する。

2回目以降は管理職と相談の上、希望日を担当まで連絡する。実施2週間前までに管理職より担当へ「巡回相談派遣申請書」（デジタル校務支援システムのライブラリ内）を提出する。

期日	主題・内容	講師
9月～2月 各自設定	担当する特別支援学級において、研究授業を行い、助言を受ける。 実施後2週間以内に授業実践報告書（様式1）を提出する。	各自依頼

B 授業実践

※教科は自由に設定する。

※学習指導案を作成して行う。

※講師は各自設定する。（管理職・教科主任・児童生徒課指導主事・特別支援教育巡回相談員等）

※上記A特別支援教育実践力研修（巡回相談）の2回目以降を利用しながら、特別支援教巡回相談員に授業づくりの助言から当日の講師まで依頼することもできる。

期日	主題・内容	講師
通年	年間を通してテーマをもって実践をする。実践内容を「私の教育実践」（様式2）にまとめ、第5回校外研修で発表し合う。	児童生徒課指導主事 特別支援教育巡回相談員

C 実践研究

※第5回校外研修での発表は、一人10分程度を予定している。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 沼南庁舎の駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、Plant及びデジタル校務支援システムのメール等で通知します。
- (4) その他年次研修を受講している場合は、受講している年次研修の校内研修に特別支援教育新任担当教員等研修を含めて構いません。
- (5) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 児童生徒課

電話 04-7191-7210

特別支援教育新任担当教員等研修「授業実践研修報告書」

学校番号

学校名

校長氏名

研修者氏名

授業展開日時		主な内容
月 日 () 【授業展開】 : ~ :		教科等 单元(題材)名
【協議】 : ~ :		
授業反省		
講師指導		
講師名等	所属	
	職・氏名	

*管理職の確認を得た後、授業終了後2週間以内に提出する。

(最終報告日：2月25日(水))

【特別支援教育新任担当教員等研修 教育実践発表会資料】

私の教育実践「 タ イ ル 」

学校番号

学 校 名

氏 名

1 学級の実態

2 実践の概要

3 成果・課題

* A4 サイズ 1 枚 (裏面利用可)

特別支援教育新任担当教員等研修 提出様式一覧

名称	提出期限	様式 No.	提出先
特別支援教育新任担当教員等研修 「授業実践研修報告書」	実施後 2 週間以内 (最終報告日 <u>2月25日(水)</u>)	新担研 様式 1	Plant 新担研 「授業実践研修報告書」フォルダ
教育実践発表会資料 「私の教育実践」	1月28日(水)	新担研 様式 2	Plant 新担研 「私の教育実践」フォルダ
研修受講者の欠席について (報告)	—	欠席届 <small>様式のダウンロード 方法は P.15 参照</small>	児童生徒課長

※ 各種様式は、4月以降、Plant に掲載する予定です。

※ 新担研様式 1, 様式 2 ともに管理職の指導を受けた後に提出してください。

IV 悉皆研修（職務①研修履歴システム Plant による申込を行うもの）

（職務②研修履歴システム Plant による申込を行わないもの）

職務①（学校教育課・教職員課・指導課・児童生徒課・学校給食課・教育研究所主催）

事業番号	分野	講座名	内 容	該当者	担当
3810612	学校 経営	小中学校 教務主任研修	教務主任としての在り方について	各校 1名	教育 研究所
3810613		小中学校 研究主任研修	研究主任としての在り方について		
3810614	教科 領域	小中学校 司書教諭研修	学校図書館活用、司書教諭の仕事と役割について等	各校 1名	指導課
3810615		小中学校 理科主任研修	理科主任としての在り方、科学工夫作品・論文審査の視点について等	各校 1名	指導課
3810616		小中学校 音楽主任研修	音楽的な見方・考え方を育てる指導	各校 1名	指導課
3810617		小中学校 図工・美術主任研修	図工・美術の授業に役立つアイデアについて	各校 1名	指導課
3810218		小学校 家庭科主任研修	作品から見る指導のポイント、作品展の講評と学習指導と評価について等	小:各校 1名 中:技 1,家 1	指導課
3810419		中学校 技術・家庭科主任研修			
3810220	小学校	体育主任研修	体育の授業づくり、体力向上に向けた取組等	各校 1名	指導課
3810421		中学校 体育主任研修			
3810622	中学校	小中学校 外国語主任研修	小中学校の系統的な英語教育の推進、指導と評価の一體化等	各校 1名	指導課
3810423		中学校 道徳教育推進教師研修	道徳教育推進教師の役割と道徳授業における原理原則	各校 1名	指導課
3810224	情報	プログラミング研修講座 (小6 担任対象)	プログラミング教育（6年生理科の指導法）	小6 担任 各校 1名	指導課
3810225	特別 活動	小学校 小動物飼育研修	適切な飼育方法や飼育舎の管理等	飼育小学校 各 1名	指導課
3810626		小中学校 人権尊重教育研修	子どもの権利と学校教育等		
3810627	特別 支援	小中学校 特別支援教育 管理職研修	特別支援教育の充実と校内体制の構築等、学校全体での特別支援教育の推進等	各校 1名	児童 生徒課
3810628		小中学校 特別支援教育コーディネーター研修		各校 1名	
3810651		小中学校 外国籍支援担当研修	外国籍支援担当の役割と全校協力体制の確立 外国籍等児童生徒の支援	各校 1名	指導課
3810629	教育 相談	小中学校 教育相談担当者研修	様々な問題を抱える子供やその保護者への関わり方等	各校 1名	児童 生徒課
3810630	保健	小中学校 保健主事研修	保健主事としての資質向上、学校保健の円滑な推進等	各校 1名	学校 教育課
3810631		小中学校 養護教諭研修 (保健教育班) (心の健康班) (執務班) (地震災害対策班)	養護教諭としての資質向上、学校保健の推進等	養護教諭	学校 教育課
3810632					
3810633					
3810634					

事業番号	分野	講座名	内 容	該当者	担当
3810235 3810436 3810637 3810638 3810639 3810640	給食	<u>小中学校 栄養士研修</u> 小学校(食育グループ) 中学校(食育グループ) (衛生グループ) (し好調査グループ) (献立グループ) (給食管理業務グループ)	栄養教諭・学校栄養職員としての学校給食に必要な専門知識と技術の向上等	栄養士 栄養教諭	学校 給食課
3810641		<u>小中学校 給食主任・栄養士 合同研修</u>	給食指導や食に関する指導の向上 給食主任と栄養士の連携等	給食主任 栄養士 栄養教諭	学校 給食課
3810642		<u>小中学校 食育研修</u>	食育に必要な専門知識、指導力について	栄養教諭	学校 給食課
3810643		<u>小中学校 給食関係職員 研修</u>	学校給食関係職員の資質の向上、 衛生・安全について等	栄養士 栄養教諭 調理員	学校 給食課
3810244	幼保 こ小 連携	<u>小学校 スタート カリキュラム研修</u>	架け橋期の子どもの育ちと幼保こ小接続について	各校 1名	教育 研究所
3811445	衛生	<u>小中学校 職場環境づくり マネジメント研修</u>	より良い職場環境づくりにおけるマネジメントの必要性について	小中高 各学校長	学校 教育課
3810646	事務	<u>小中学校 教頭・事務職員 合同研修</u>	教頭・学校事務職員としての資質向上等	教頭 事務職員	教職 員課
3810647		<u>小中学校 事務職員研修</u>	学校事務職員としての資質向上等	事務職員	教職 員課

職務②(研修履歴システムPlantによる申込を行わないもの)

事業番号	分野	講座名	内 容	該当者	担当
001	初任者 指導	<u>初任者研修</u> <u>指導教員研修</u>	初任者指導教員としての資質向上と初任者研修の充実 ※別途、開催通知を送付します。	初任者研修 指導教員	教育 研究所
002	教科	<u>新任講師研修</u>	学級づくり・授業づくりを中心とした実践力の育成 ※申込は、学校管理職宛に送付するFormで行います。	新任講師	教育 研究所

令和7年度（柏市）小中学校 教務主任研修 実施要項

1 目的

学校教育目標及び学区の目指す児童生徒像の実現に向けた、教育課程の編成や年間指導計画の立案・運営について理解を深めるとともに、「地域とともにある学校づくり」に向けた、ミドル・マネジメントができる教務主任としての資質と実践力の向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 教務主任

3 内容

回	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	4/16 (水)		14:30 ~16:30	D11 「時数管理について」 「KMGsについて」 「働き方改革及びモラールアップについて」 ※小学校と中学校の教務主任	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室
2	11/26 (水) 11/28 (金)		14:30 ~16:30	D11 「次年度の教育課程を考える」 ※教務主任と研究主任合同研修 ※小学校(11/26) 中学校(11/28)	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室 501会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム（4月）
- (2) 承認機関：学校・柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関を御利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当課までお問い合わせください。
- (5) 第2回の研修は研究主任との合同研修になります。

小学校は11月26日(水)、中学校は11月28日(金)に実施します。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）小中学校 研究主任研修 実施要項

1 目的

教育目標の目指す児童生徒像の実現に向けた、校内研究の在り方や推進の手法について理解を深め、研究主任としての資質と指導力の向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 研究主任

3 内容

回	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	6/4 (水)		14:30 ~16:30	D14 「研究主任としての在り方について」 ※小学校・中学校の研究主任	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室
2	11/26 (水) 11/28 (金)		14:30 ~16:30	D14 「次年度の研修計画を考える」 ※研究主任と教務主任合同研修 ※小学校（11/26） 中学校（11/28）	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室 501会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。
- (5) 第2回の研修は教務主任との合同研修になります。

小学校は11月26日（水）, 中学校は11月28日（金）に実施します。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）司書教諭研修 実施要項

1 目的

「主体的・対話的で深い学び」に資する学校図書館の方法を学び、児童生徒の資質・能力を高める「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の運営について研修を深める。

読書支援の具体的方法、事例等から「読書センター」としての学校図書館の効果的運営について実践する力を養う。

2 対象

柏市立小中学校 司書教諭発令者、または学校図書館活用担当者 各校1名

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/29 (木)	13:45 ~16:30	B6 詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 大会議室
2	7/1 (火)	13:45 ~16:30	B6 詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 大会議室 501会議室
3	1/26 (月)	13:45 ~16:30	B6 詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務メールなどで通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 理科主任研修 実施要項

1 目的

理科の教科指導、薬品管理についての役割を明確にし、理科教育支援員との協働した授業づくりが行えるようにする。

児童生徒の理科実験観察の成果物を通して、理科主任としての識見を高め、評価方法の習得と指導力の向上と、創意工夫の資質・能力の育成を図る。

2 対象

柏市立小中学校 理科主任

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/30 (水) 14:00 ~16:00	B6	「理科主任としての在り方について」	指導課 指導主事 教育専門アドバイザー	ウェルネス柏 研修室
2	9/5 (金) 10:00 ~12:00	B6	中学校 【講義】 「科学工夫作品・論文審査の視点について」 【演習】 「柏市小中学校科学作品展」作品審査	指導課 指導主事 教育専門アドバイザー	さわやかちば 県民プラザ
			小学校 【講義】 「科学工夫作品・論文審査の視点について」 【演習】 「柏市小中学校科学作品展」作品審査	指導課 指導主事 教育専門アドバイザー	

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 第2回の研修は、小中分かれて行います。中学校は午前、小学校は午後になります。
- (2) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (3) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (4) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (5) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課

電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 音楽主任研修 実施要項

1 目的

学習指導要領における、音楽的な見方・考え方とは何かを知ると共に、資質・能力を育成する授業の実際を学び、学ぶ意欲・習慣及び学び続ける力の育成を図る。

2 対象

柏市立小中学校 音楽主任

3 内容

回	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	4/22 (火)		14:00 ~16:00	B5 中学校教科書改訂について	指導課 指導主事 教育芸術社 担当者	沼南庁舎 大会議室
2	8/28 (木)		14:00 ~16:00	B6 未定	未定	柏市文化会館 小ホール
3	11/21 (金)		14:00 ~16:00	B6 未定	未定	柏市文化会館 小ホール

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 図工・美術主任研修 実施要項

1 目的

「柏っ子造形展」を「柏市の図工・美術教育の研修の機会」と位置づけ、次の2点を意識して、教員の資質・能力の向上を図る。

①柏の造形活動を通した学びの在り方を考える。

②児童生徒が自分らしさを発揮している作品の見取り、自分らしさを発揮しやすい題材の発見、効果的な指導の在り方を考える。

2 対象

柏市立小中学校 図工・美術主任

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	6/6 (金)	15:30 ~16:00	柏っ子造形展に向けての組織づくりと 今後の準備計画について	指導課 指導主事	沼南庁舎 大会議室
		16:00 ~16:30	B6 中学校教科書改訂について	指導課 指導主事 開隆堂 担当者	
2	1/30 (金)	14:45 ~16:15	柏っ子造形展の会場設営及び作品展示	指導課 指導主事	さわやかちば 県民プラザ
3	2/3 (火)	13:30 ~15:00	B5 (仮) 指導と評価について	未定	さわやかちば 県民プラザ
		15:10 ~16:10	柏っ子造形展の会場片付け及び作品撤去	指導課 指導主事	

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小学校 家庭科主任研修 実施要項

1 目的

「柏市技術家庭科作品展」を通して、児童生徒が生活と技術についての基礎的な理解と技能を身につけられる技術・家庭科教育のありかたを考え、教員の資質・能力の育成を図る。

2 対象

柏市立小学校 家庭科主任

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/1 (木)	15:30 ~16:00	「技術家庭科作品展に向けての組織づくりと 今後の準備計画について」	指導課 指導主事	沼南庁舎 大会議室
		16:00 ~16:30	B6 「年間計画についての情報交換」 ※各校の年間計画を持参	指導課 指導主事	
2	11/7 (金)	14:30 ~15:30	「技術家庭科作品展と作品搬入」	-	さわやかちば 県民プラザ
	11/11 (火)	15:00 ~16:20	B6 「技術家庭科作品展の片付けと作品搬出」 【研修】15:50~16:20 「作品展の講評や学習指導についての情報交換」 「実技伝達講習の報告」等	未定 (指導課 指導主事)	

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム Plant (4月)
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）中学校 **技術・家庭科主任研修 実施要項****1 目的**

「柏市技術家庭科作品展」を通して、児童生徒が生活と技術についての基礎的な理解と技能を身につける技術・家庭科教育のありかたを考え、教員の資質・能力の育成を図る。

2 対象

柏市立中学校 技術・家庭科主任

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/1 (木)	15:30 ~16:00	- 技術家庭科作品展に向けての組織づくりと 今後の準備計画について	指導課 指導主事	沼南庁舎 大会議室
		16:00 ~16:30	B6 「年間計画についての情報交換」 ※各校の年間計画を持参		
2	8/18 (月)	技術 9:30 ~11:30 / 家庭 14:00 ~16:00	B5 B6 【研修】 「指導計画と評価について」 「実技伝達講習の報告」等	未定	沼南庁舎 501会議室
3	11/7 (金)	15:30 ~16:30	- 技術家庭科作品展の準備と作品搬入	-	さわやかしば 県民プラザ
	11/11 (火)	15:50 ~16:30	- 技術家庭科作品展の片付けと作品搬出		

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム Plant (4月)
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小学校 体育主任研修 実施要項

1 目的

体育的行事や学習指導要領に基づく体育の授業づくり等に関して、校内の中心的な役割を果たす上で必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象

柏市立小学校 体育主任

※体育主任以外も希望研修として申し込みすることができる。

希望研修：体力向上研修（兼 部活動指導研修会）（講座番号：3830640, 3830641）

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	8/27 (水)	10:00 ~12:00	B6 D14 ・実技研修会	大学関係者 小中体連柏支部 柏市教育委員会	市立柏中学校
2	11月中	13:30 ~16:30	B5 B6 授業参観・研究協議会 「『学び』のある体育」のあり方 ～小中学校の連携を見通した系統的な指導～ *日程・会場ともに小中合同	大学関係者	市立中学校

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 内容等の詳細については、後日通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）中学校 体育主任研修 実施要項

1 目的

体育的行事や部活動、学習指導要領に基づく体育の授業づくり等について、校内の中心的な役割を果たす上で必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象

柏市立中学校 体育主任

※8月27日（水）の小学校体育主任研修および体力向上研修（兼 部活動指導者研修会）について
は、希望研修にて別途申し込み。

※体育主任以外も希望研修として申し込みすることができる。

希望研修：体力向上研修（兼 部活動指導研修会）（講座番号：3830640, 3830641）

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	11月中 13:30 ~16:30	B5 B6	授業参観・研究協議会 「『学び』のある体育」のあり方 ～小中学校の連携を見通した系統的な指導～ *日程・会場ともに小中合同	大学関係者	市立中学校

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 内容等の詳細については、後日通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 外国語主任研修 実施要項

1 目的

小中学校の外国語主任が、校種別や地区別で、協議・演習・情報交換等を行うことによって研鑽を積み各校で中心的な役割を担う上で必要な資質・能力の向上を図る。

小中連携を深め、系統性のある学びが展開されるよう外国語教育の推進につなげる。

2 対象

柏市立小中学校 外国語主任・小学校外国語専科教員 各校1名

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/8 (木)	14:00 ~16:30	B6 小中合同 ・柏市が目指す英語教育について ・小中学校の系統的な英語教育の推進 ・指導と評価の一体化	指導課 担当 教育専門アドバイザー	沼南庁舎 大会議室
2	10/29 (水)	14:00 ~16:30	B6 小中合同 ・言語活動の充実 ・実践の共有 ・英語教育実施状況調査について	指導課 担当 教育専門アドバイザー	沼南庁舎 大会議室
3	1/28 (水)	14:00 ~16:30	B6 小中合同 ・年間の総括 ・小中連携教育の進捗および実践の共有 ・指導と評価の一体化	指導課 担当 教育専門アドバイザー	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務メールなどで通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

講座番号 3810423

令和7年度（柏市）中学校 道徳教育推進教師研修 実施要項

1 目的

道徳教育推進教師の役割と道徳教育推進教師を中心とした全校協力体制の確立について学ぶ。「特別の教科 道徳」の確実な実施と質の高い授業について理解を深める。

2 対象

柏市立中学校 道徳教育推進教師（小中隔年で実施します。）

3 内容

回	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	6/27 (金)		14:30 ~16:30	B5 道徳教育推進教師の役割と 道徳授業における基本的理解	未定	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小学校 プログラミング研修講座（小6担任対象） 実施要項

1 目的

プログラミング教育が必修化されたことに伴い、プログラミング教育について理解を深め、例示されている6年生理科の指導法を学ぶ。

2 対象

柏市立小学校 6年生担任 各校1名

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場	
1	8/26 (火)	10:00 ~12:00 学校番号 1~21 14:00 ~16:00 学校番号 22~42	B5	小学6年算数 「私たちの生活と電気」 MESHを使って、効率の良い 電気の使い方を学ぶ 他	柏市教育委員会 市内教職員	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 各校1名を悉皆としておりますが、**上記内容を経験したことがない方を優先**して御参加ください。
- (2) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (3) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (4) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務メール等で通知いたします。
- (5) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課

電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小学校 小動物飼育研修 実施要項

1 目的

学校飼育小動物の適切な飼育方法や飼育舎の管理等に関する研修を行い、各学校での適切な飼育活動の実現及び安全管理等の課題解決を図る。

2 対象

小動物を飼育している小学校から、各校1名
(飼育担当、生活科担当、理科担当等の関係職員)

3 内容

動画を撮影し、撮影後に指導課より動画を配付しますので、各学校において委員会活動等の時間を活用し、御視聴ください。

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	7月頃～ 12月頃	オンラインにて視聴	D12 <ul style="list-style-type: none">・会場校飼育委員会児童による飼育実習・獣医師から飼育方法の指導助言・児童生徒による質疑応答・獣医師から飼育舎の管理状況等についての助言指導・教員による質疑応答	柏地区獣医師 1～2名	オンラインにて視聴

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 対象者については、令和7年4月実施予定の「小動物飼育状況調査」にて、該当の小動物の飼育実態がある学校より1名となります。
- (2) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (3) 研修動画が視聴可能となった旨の通知は、7月頃に送付予定です。
視聴後、formsのアンケートに回答していただき、その回答をもって受講したものとみなします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課

電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 人権尊重教育研修 実施要項

1 目的

柏市における児童福祉行政の方向性踏まえ、学校における児童生徒の適切な権利擁護の実現を図る。特に、令和8年度中に開所予定である「（仮称）こども・若者相談センター」の開設に向けた、こども相談センター学齢児班との連携や、同センター内に設置予定の「柏市立児童相談所」との連携等について識見を高める。

2 対象

柏市立小中学校 人権尊重教育担当者

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	8/1 (金)	10:00 ~12:00	C9 「子どものウェルビーイングのために」	こども相談センター 杉本 祥子 専門監	アミュゼ柏

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

令和5年度より、本研修は夏季研修講座と兼ねて実施しています。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 来場には公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 児童生徒課
電話 04-7191-7210

講座番号	管理職	3810627
	特別支援コーディネーター	3810628

令和7年度（柏市）小中学校 **特別支援教育管理職・コーディネーター研修 実施要項**

1 目的

学校における児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実のため、障害特性の理解、校内支援体制の構築、関係機関との連携に精通するとともに、学校全体での特別支援教育の推進を図る。

2 対象

- (1) 柏市立小中学校 管理職 各校1名
- (2) 柏市立小中学校 特別支援教育コーディネーター

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講 師	会場
1	8/1 (金) 14:00 ～ 16:00	E15	発表 「柏市の特別支援教育について（仮）」 講義 「通常の学級における『特別』でない 支援教育～校内支援体制づくりと合理的配慮の具体～」（仮）	児童生徒課 指導主事 植草学園大学 佐藤 慎二 氏	柏市民 文化会館 (小ホール)

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 来場には、公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書で通知します。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当	児童生徒課
電話	04-7191-7210

講座番号	3810651
------	---------

令和7年度（柏市）小中学校 外国籍支援担当研修 実施要項

1 目的

外国にルーツを持つ児童生徒の支援について、外国籍支援担当の役割と全校協力体制の確立について学ぶ。外国籍等児童生徒の支援についての理解を深める。

2 対象

柏市立小中学校 外国籍支援担当

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/23 (水)	14:30 ~16:30	E15 E16 外国籍支援担当の役割と 外国にルーツを持つ児童生徒支援への理解	未定	オンライン

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに欠席届の提出をお願いします。
- (2) 外国籍支援担当以外でも外国にルーツを持つ児童生徒を担任等、受講を希望する場合は、講座の全部または一部を受講することができます。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

令和7年度（柏市）小中学校 教育相談担当者研修 実施要項

1 目的

柏市における教育相談体制について共通理解を図り、学校における教育相談機能の充実を期す。教育相談におけるケーススタディを通じ、児童生徒へのアセスメントについて識見を高める。

2 対象

柏市立小中学校 教育相談担当者、柏市スクールカウンセラー

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/27 (火) 14:00 ~16:30	C7 C8 C9	「柏市における教育相談体制について」 「教育相談ケーススタディ」（仮）	児童生徒課指導主事	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 児童生徒課
電話 04-7191-7210

令和7年度（柏市）小中学校 保健主事研修 実施要項

1 目的

学校保健の円滑な推進に向けて、保健主事の資質向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 保健主事

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/20 (火)	15:00 ~15:30	A3 ・学校保健の現状と課題	担当指導主事	沼南庁舎 大会議室
		15:30 ~16:30	D11 D12 ・中学校区別グループ討議 「健康教育実践についての情報交換・成果 と課題」	同上	
2	7/23 (水)	10:00 ~10:30	A3 （養護教諭との合同研修） ・千葉県の学校保健について	担当指導主事	沼南庁舎 大会議室
		10:30 ~12:00	E15 ・講演 「小児の糖尿病の治療と学校でできること」	松戸市立総合医療センター 成瀬 裕紀医師	

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務文書交換で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当	学校教育課 保健担当
電話	04-7190-5781

令和7年度（柏市）小中学校 養護教諭研修 実施要項

1 目的

養護教諭の資質向上を図り、学校保健の推進に努める。

2 対象

柏市立小中学校 養護教諭

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/25 (金)	13:30 ~14:00	A3	・今年度の学校保健について ・保健業務内容について	担当指導主事 沼南庁舎 大会議室
		14:00 ~15:30	D14	・養護教諭会の活動について ・運営、研修計画について	
		15:30 ~16:30	※1	・グループ別研修	
2	6/10 (火)	13:30 ~14:00		・事務連絡	担当指導主事 沼南庁舎 大会議室
		14:00 ~16:30	※1	・グループ別研修	
3	7/23 (水)	10:00 ~10:30	A3	(保健主事との合同研修) ・千葉県の学校保健について	担当指導主事 沼南庁舎 大会議室
		10:30 ~12:00	E15	・講演 「小児の糖尿病の治療と学校でできること」	
4	7/30 (水)	19:30 ~10:30		・事務連絡	担当指導主事 沼南庁舎 大会議室
		10:30 ~12:00	C8 D13	・小中学校別研修	
		13:30 ~16:30	※1	・グループ別研修	
5	8/28 (木)	9:30 ~10:00		・事務連絡	担当指導主事 柏市消防局救急課 沼南庁舎 大会議室
		10:00 ~12:00	B5	・講演及び実技研修 「同時に多数の傷病者が発生した場合の対応～助かる命を必ず救おう～」	
		13:30	D12	・中学校区別研修	
		14:30 ~16:30	※1	・グループ別研修	

6	10/16 (木)	13:30 ~14:00		・事務連絡	担当指導主事	沼南庁舎 大会議室
		14:00 ~16:00	B5	・講演 「最新の感染症の動向と学校での対応」 (仮)	みんなのクリニック大久保 大久保 摩利子医師	
		16:00 ~16:30	※ 1	・グループ別研修		
7	11/14 (金)	13:30 ~14:00		・事務連絡	担当指導主事	沼南庁舎 大会議室
		14:00 ~15:00	D14	・東葛飾養護教諭会発表 リハーサル	保健部会 担当校長	
		15:00 ~16:30	※ 1	・グループ別研修		
8	2/27 (金)	13:30 ~14:00		・事務連絡	担当指導主事	沼南庁舎 大会議室
		14:00 ~16:30	D14	・グループ別研修報告 ・養護教諭会運営及び反省の まとめ	保健部会 担当校長	

※ 1 グループ別研修において、各班共通の研修内容はD14,班別のテーマについての研修内容はそれぞれ指標が異なります。

保健教育班：B6 心の健康班：C9
執務班：B5 地震災害対策班：D12

※ 2 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務文書交換で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担 当 学校教育課 保健担当
電 話 04-7190-5781

令和7年度（柏市）小中学校 栄養士研修 実施要項

1 目的

栄養教諭・学校栄養職員としての学校給食に必要な専門知識と技術の向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 栄養教諭・学校栄養職員

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/15 (火)	14:00 ~15:30	※1 ・グループ別研修		沼南庁舎 大会議室
		15:30 ~16:30	D14 ・献立研究会		
2	5/16 (金)	14:00 ~16:30	※1 ・グループ別研修		沼南庁舎 大会議室
3	6月~ 11月	8:15 ~16:30	A3 ・衛生管理研修		グループ別 市内各校
4	7/16 (水)	14:00 ~16:30	D14 ・献立研究会		沼南庁舎 大会議室
5	7/25 (金)	9:00 ~16:30	※1 ・グループ別研修		グループ別 市内各校
6	8/4 (月)	9:00 ~12:00	A3 ・スキルアップ研修	未定	沼南庁舎 大会議室
7	1/21 (水)	14:00 ~16:30	D14 ・献立研究会		沼南庁舎 大会議室
8	2/16 (月)	14:00 ~15:00	※1 ・グループ別研修	栄養士研修担当校長	沼南庁舎 大会議室
		15:00 ~16:30	D14 ・グループ研修発表及び指導		

※1 グループ別研修において、各班共通の研修内容はD14、班別のテーマについての研修内容はそれぞれ指標が異なります。

- ・衛生グループ：D14
- ・食育グループ（小学校）：B5・B6
- ・食育グループ（中学校）：B5・B6
- ・し好調査グループ：D14
- ・献立グループ：D14
- ・給食管理業務グループ：D14

※2 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 沼南庁舎駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、別途通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 学校給食課
電話 04-7191-7376

令和7年度（柏市）小中学校 給食主任・栄養士合同研修 実施要項

1 目的

- (1) 給食指導の向上を図るため研修を実施し、給食主任と栄養士の連携を図る。
- (2) 食に関する指導の推進に向けて情報交換を行い、取り組みの具体化を図る。

2 対象

柏市立小中学校 給食主任・栄養教諭・学校栄養職員

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	6/30 (月)	14:30 ~16:30	B5 B6 D12 給食指導について 給食主任・栄養士の連携について 食に関する指導について 等	未定	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
車を使用する場合は、各校1台までをお願いします。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、別途通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 学校給食課

電話 04-7191-7376

令和7年度（柏市）小中学校 食育研修 実施要項

1 目的

- (1) 食育に必要な専門知識について研修、協議を行い、食育に携わる個人としての資質の向上を図る。
- (2) 食に関する指導の推進に向けて情報交換を行い、取り組みの具体化を図る。

2 対象

柏市立小中学校 栄養教諭・学校栄養職員

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	11/21 (金)	14:00 ~16:30	B5 B6 講演「未定」 グループ協議 等	未定	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、別途通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当	学校給食課
電話	04-7191-7376

令和7年度（柏市）小中学校 給食関係職員研修 実施要項

1 目的

学校給食関係職員の資質の向上、衛生管理、安全管理についての専門的知識と技術の向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 栄養教諭・学校栄養職員・調理業務委託会社担当者及び調理従事者

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	8/5 (火) 13:30 ~16:30	D13 D14	衛生管理について 異物混入について 等	未定	アミュゼ柏

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、別途通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当	学校給食課
電話	04-7191-7376

令和7年度（柏市）小学校 スタートカリキュラム研修 実施要項

1 目的

幼保こ園から小学校への円滑な接続になるよう、幼保こ小の連携に努め、幼児教育について理解を深めるとともに、スタートカリキュラムのマネジメントを推進する力の育成を図る。

2 対象

柏市立小学校 幼保こ小担当

3 内容

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	11/12 (水) 幼保こ小 北部地区 東部地区	13:20 ~15:00	D13 演習・講評 「伝え合いを楽しむ子を育てる」 ・幼保こ園実践発表 ・小学校区グループ協議 ※幼児教育共同実践と合同開催	聖徳大学 教授 河合 優子	沼南庁舎 大会議室 501会議室
	11/13 (木) 幼保こ小 南部地区 中部地区	15:15 ~16:30	D11 演習 「みんなで伴走し、育てよう！柏市の子どもたち～架け橋期カリキュラム共通シートを活用して～」	担当指導主事	

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム 第1期
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 本研修は、幼保こ小地区に分かれて行い、園の研修と合同で行います。
11/12(水)は、幼保こ小北部地区と東部地区。11/13(木)は、幼保こ小南部地区と中部地区。
- (2) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡をお願いします。（教務主任または1学年担任の代理出席等についてご相談させていただきます。）
- (3) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (4) 急な受講方法の変更等がある場合は、文書にて通知いたします。
- (5) 今年度にスタートカリキュラムを実施する先生方を対象に、昨年度のスタートカリキュラム研修会の内容について下記の日程でオンデマンド配信を行います。

配信日時：令和7年3月24日（月）～4月10日（木）

内 容：「みんなで伴走し、育てよう！柏市の子どもたち
～架け橋期の教育を考える～」

※15分程度の動画を配信予定

※小1担任や低学年支援員等にも役立つ内容になっておりますので、入学前の学年会等においてご活用ください。

- (6) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）小中高等学校 職場環境づくりマネジメント研修 実施要項

1 目的

ストレスチェック実施結果における集団分析の結果を踏まえ、より良い職場環境づくりにおけるマネジメントの必要性等を学ぶもの。

2 対象

柏市立小中高等学校 学校長

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	10/29 (水) ～ 11/28 (金)	動画視聴	D12 講義 より良い職場環境づくりにおける マネジメントの必要性等について学ぶ	ストレスチェック 業務委託業者による	オンライン

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) オンラインによる動画形式で実施しますので、上記期間内に動画を視聴し、受講がおわりましたら、11月28日（金）までにアンケートご回答をお願いします。
- (2) 視聴方法（YouTube動画を予定）や研修資料は、前日までにデジタル校務文書通知又は各学校長宛てにメールでお知らせします。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務文書通知又はメールにてお知らせします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 学校教育課 保健担当

電話 04-7190-5781

令和7年度（柏市）小中学校 教頭・事務職員合同研修 実施要項

1 目 的

学校事務職員の資質向上を図る。

2 対 象

柏市立小中学校 教頭 （1年目・2年目・市外からの異動者）
柏市立小中学校 事務職員（1年目～5年目・市外からの異動者）

3 内 容

回	期 日		指 標	主題・内 容	講 師	会 場
1	5/13 (火)	14:00 ～15:30	D12	財務研修	学校財務室担当	オンライン (Teams)

※講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他の

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) オンラインでの参加方法等については別途通知します。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、改めて通知します。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担 当 教職員課
電 話 04-7197-1115

講座番号	3810647
------	---------

令和7年度（柏市）小中学校 事務職員研修 実施要項

1 目的

学校事務職員の資質向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校 事務職員

3 内容

回	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	4/28 (月)		14:00 ~16:30	D14 年間研修計画作成等	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室
2	6/5 (木)		14:00 ~16:30	D12 研修項目一覧表より	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室
3	9/25 (木)		14:00 ~16:30	D12 研修項目一覧表より	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室
4	10/24 (金)		14:00 ~16:30	D12 研修項目一覧表より	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室
5	12/15 (月)		14:00 ~16:30	D12 研修項目一覧表より	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室
6	2/17 (火)		14:00 ~16:30	D12 研修項目一覧表より	教職員課各担当	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 悉皆研修となるため、やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、改めて通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教職員課
電話 04-7197-1115

令和7年度（柏市）初任者研修指導教員研修 実施要項

1 目的

初任者指導教員としての指導力の向上を図り、初任者研修の充実に資する。

2 対象

柏市立小中学校 拠点校指導教員及び指導教員（非常勤講師）※校内指導教員は除く

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	4/8 (火) 13:30 ～16:00	-	協議 「初任者研修の進め方」 講義・演習 「初任者OJT 成長支援の鍵」	教育研究所担当 株式会社 ロッカン 代表 白井 剛司	沼南庁舎 大会議室
2	7/15 (火) 13:30 ～16:00	-	協議 「1学期の実践と今後の研修の 進め方」	教育研究所担当	沼南庁舎 大会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

申込不要

※別途、開催通知を送付予定

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡をしてください。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）小中学校 新任講師研修 実施要項

1 目的

通常の学級における学級づくり・授業づくりを中心とした実践力の育成を図る。

2 対象

柏市立小中学校に勤務する講師のうち、初めて通常学級や教科を受け持つ者とする。

通常学級担任や教科担任以外でも、受講を希望する場合は講座の全部または一部を受講することができる。（会計年度任用職員に関しては旅費の関係で対象外）

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1 (金)	5/2	14:00 ~14:10	講話 「新任講師に期待すること」	教育研究所長	沼南庁舎 大会議室
		14:10 ~15:40	講義・演習 「学級内での望ましい人間関係づくり」	柏市教育委員会	
	(木)	15:50 ~16:20	講義・演習 「危機管理の基本」	柏市教育委員会	
		16:20 ~16:30	研修の振り返り	教育研究所 研修担当	
2	8/7 (木)	9:30 ~10:40	講義・演習 「接遇の基本」	NOMA総研 中島 彩花	沼南庁舎 大会議室
		10:50 ~11:50	講義・演習 「特別支援教育の基本」	柏市教育委員会	
		13:00 ~14:30	講義・演習 「2学期の教材研究」	柏市教育委員会	
		14:40 ~15:50	協議 「2学期に向けて」	柏市教育委員会	
		15:50 ~16:00	研修の振り返り	教育研究所 研修担当	
3 (火)	1/20	14:00 ~16:00	協議 「授業力・生徒指導力向上と自己の課題解決」	柏市教育委員会	沼南庁舎 大会議室
		16:00 ~ 16:30	講話及び研修の振り返り	教育研究所長	

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

申込は、学校管理職宛に送付するForm（アンケート機能）の回答をもって行います。

5 集合研修の受講について

(1) 研修参加時の持ち物

- ① 筆記用具
- ② 名札（学校で使用しているもの）
- ③ 記録用ノート

(2) 留意点

- ① 受付時間
原則開始時刻の30分前より行う。
- ② 昼食
各自持参もしくは会場周辺の飲食店等を利用すること。※第2回のみ

(3) 欠席等の報告

- ① やむを得ず欠席・遅刻・早退等をする場合は、管理職が教育研究所研修担当に連絡する。
(受講者本人による連絡は不可)
- ② 欠席届は、教育研究所ホームページに掲載されている共通様式1をダウンロードし作成する。「教育研究所長」宛に提出し、報告する。

6 その他

- (1) 第1回及び3回は、千教研の日程に合わせて開催します。そのため、受講する方は千教研には参加できませんので、会費は納入しないようご留意ください。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等は、改めて通知します。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387



特別研修

教職員の教科等に関する専門的な指導力や教育課題に関する専門的な能力の向上を図るため、第一線で活躍する講師を招いての講演会（夏季研修講座）や、情報教育及び外国語教育（夏季情報活用研修講座・小中学校外国語指導スキルアップ講座）を夏季休業中に実施し、市内教員は原則悉皆研修として受講する。

【夏季休業中の悉皆研修としての位置づけ】

- ・夏季研修講座
- ・夏季情報活用研修講座
- ・小中学校外国語指導スキルアップ講座

から、1人1講座以上受講する。

※一部受講指定がある。

※上記の講座以外の校務分掌等による出張や研修は含まれない。

【受講対象者】

対 象	受 講
管理職・主幹教諭・教諭・養護教諭・栄養教諭 ・再任用勤務者（フルタイム）	悉皆（1人1講座以上受講）
学校事務職員・学校栄養職員・講師 ・再任用短時間勤務者（ハーフタイム）	希望者のみ

【申し込み方法】

研修履歴システム Plant（6月）

※Plantを使用できない者で、対面受講を希望する場合は学校宛Formの返信にて申し込む。

※定員が設定されている講座は、定員に達し次第、申込締切となるので注意してください。

【受講方法】対面集合研修・動画視聴研修

受講者同士の演習、振り返り等の対話を重視するため、対面集合研修での受講を奨励します。

動画視聴研修の場合は、校内で複数の教職員で、同時視聴を原則とします。

研修事業	受講方法	備考
夏季研修講座	<ul style="list-style-type: none"> ・対面集合研修（奨励） ・動画視聴研修（校内で複数の教職員で、同時視聴を原則） 	※対面集合研修での講座指定あり 初任者研修受講者 2年目研修受講者 特別支援教育新任担当教員等研修受講者 柏市人権尊重教育研修受講者 ※柏市学校警察連絡協議会会員(受講推奨)
夏季情報活用研修講座	対面集合研修	
小中学校外国語指導 スキルアップ講座	対面集合研修	

- ・やむを得ない理由で欠席する場合、管理職を通し、研修担当へ事前連絡の上、欠席届を提出すること。その際、他の特別研修の講座を選択し、欠席届の備考欄に代替研修について明記する。欠席は、動画視聴できない場合や感想箋の回答ができない場合も含む。
- ・感染症の状況や天候不良等により対面受講が中止となった場合、動画視聴や別講座への振替となることがある。

事業番号	分野	講座名	内 容	担当
対面:3831415 動画:3831427	教育 課 題	夏季研修講座（1）	探究カリキュラムの開発（仮） 文京学院大学 教授 樋口 桂	教育研究所
対面:3831416 動画:3831428		夏季研修講座（2）	教科の深い学びを実現する授業づくり、学級づくり（仮） 東京学芸大学 准教授 大村 龍太郎	教育研究所
対面:3831417 動画:3831429		夏季研修講座（3） ※新担研と合同	自立活動の実際の指導 ～ボディパーカッションをとおして～（仮） 千葉県立柏特別支援学校 新垣 賢一	教育研究所 児童生徒課
対面:3831418 動画:3831430		夏季研修講座（4）	ゴリラから生き方を学ぶ（仮） 総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一	教育研究所
対面:3831419 対面のみ		夏季研修講座（5） ※中堅研優先講座	チームの力を引き出すファシリテーション力 拓殖大学 准教授 石川 一喜	教育研究所
対面:3831420 対面のみ		夏季研修講座（6） ※中堅研優先講座	コーチングの方法と実際 and Cs 代表 藤田 潮	教育研究所
対面:3831421 動画:3831431		夏季研修講座（7）	これからの中堅研優先講座 上越教育大学 教授 赤坂 真二	教育研究所
対面:3831422 動画:3831432		夏季研修講座（8） ※学警連担当推奨講座	インターネット依存の実態と治療の実際 久里浜医療センター 三原 聰子	教育研究所 少年補導センター
対面:3831423 動画:3831433		夏季研修講座（9） ※人権尊重教育研修と合同	子どものウェルビーイングのために 柏市こども相談センター 杉本 祥子	教育研究所 児童生徒課
対面:3831424 動画:3831434		夏季研修講座（10） ※2年目研修と合同	性別違和や性的指向・性自認に係る 児童生徒への対応について 柏市立藤心小学校 校長 中光 理恵	教育研究所
対面:3831425 動画:3831435		夏季研修講座（11） ※初任研と合同	ゲートキーパーの役割～大切な子供と仲間を守るために～ メンタルレスキュー協会 副理事長 小野田 奈美	教育研究所
対面:3831426 動画:3831436		夏季研修講座（12） ※初任研と合同	特別な教科『道徳』の実際 初級編 麗澤大学 准教授 江島 顕一	教育研究所
3830601～ 3830610	情報	夏季情報活用研修講座 （1）～（10）	教職員のICTを活用した授業力向上を図る。	指導課
3830211～ 3830212	教 科	小学校 外国語指導スキルアップ講座	外国語授業について理解を深め、指導技術の向上を目指す。	指導課
3830413～ 3830414		中学校 外国語指導スキルアップ講座		

※ 講師及び主題については、予告なく変更する場合があります。

令和7年度（柏市）夏季研修講座 実施要項

1 目 的

社会の急激な変化に伴い、高度化・複雑化する諸課題について、最新の知見や対応方法等について学び、資質能力及び専門性の向上を図る。

2 対 象

柏市立小中学校の悉皆受講対象者 及び 受講を希望する者

3 内 容

講 座 名	事業番号	対象	受講方法	期日	指標	内 容
夏季研修講座（1） （探究的な学び）	3831415	対面受講希望者	対面 (アミュゼ柏)	7/28（月） 10:00～12:00	D11	探究カリキュラムの開発（仮） 文京学院大学 教授 樋口 桂
	3831427	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（2） （ICT活用・GIGA）	3831416	対面受講希望者	対面 (アミュゼ柏)	7/28（月） 14:00～16:00	F17 F18	教科の深い学びを実現する 授業づくり、学級づくり（仮） 東京学芸大学 准教授 大村 龍太郎
	3831428	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（3） （特別支援） ※新担研と合同	申込不要	新担研受講者	対面 (アミュゼ柏)	7/29（火） 10:00～12:00	E15 E16	自立活動の実際の指導（仮） ～ボディパーカッションをおして～ 千葉県立柏特別支援学校 新垣 賢一
	3831417	対面受講希望者				
	3831429	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（4） （コミュニケーション）	3831418	対面受講希望者	対面 (アミュゼ柏)	7/29（火） 午後(時間未定)	A2	ゴリラから生き方を学ぶ（仮） 総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一
	3831430	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（5） （ファシリテーション） ※中堅教諭優先講座	3830637	中堅教諭優先	対面のみ (ラコルタ柏)	7/30（水） 10:00～12:00	A2	チームの力を引き出す ファシリテーション 拓殖大学 准教授 石川 一喜
	3831419	対面受講希望者				
夏季研修講座（6） （コーチング） ※中堅教諭優先講座	3830638	中堅教諭優先	対面のみ (ラコルタ柏)	7/30（水） 14:00～16:00	A2	コーチングの方法と実際 and Cs 代表 藤田 潮
	3831420	対面受講希望者				
夏季研修講座（7） （チーム学校・学級経営）	3831421	対面受講希望者	対面 (アミュゼ柏)	7/31（木） 10:00～12:00	D11 D12	これからの学級経営を考える（仮） 上越教育大学 教授 赤坂 真二
	3831431	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（8） （生徒指導） ※学警連担当推奨講座	3831422	対面受講希望者	対面 (アミュゼ柏)	7/31（木） 14:00～16:00	C7 C9	インターネット依存の実態と 治療の実際 久里浜医療センター 三原 聰子
	3831432	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		

夏季研修講座（9） （人権尊重） ※人権尊重教育研修 と合同	申込不要	人権尊重教育研修 受講者	対面 (アミュゼ柏)	8/1（金） 10:00～12:00	C7 C9	こどものウェルビーイングのために 柏市こども相談センター 杉本 祥子
	3831423	対面受講希望者				
	3831433	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（10） （LGBTQ） ※2年目研と合同 ※過去未受講の者は 必ず受講すること	申込不要	2年目研修受講者	対面 (アミュゼ柏)	8/1（金） 13:30～15:30	C9 E15	性別違和や性的指向・性自認に 係る児童生徒への対応について 柏市立藤心小学校 校長 中光 理恵
	3831424	対面受講希望者				
	3831434	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（11） （ゲートキーパー） ※初任研と合同	申込不要	初任者研修受講者	対面 (アミュゼ柏)	8/4（月） 10:00～12:00	A1 C8	ゲートキーパーの役割 ～大切な子供と仲間を守るために～ メンタルレスキュー協会 副理事長 小野田 奈美
	3831425	対面受講希望者				
	3831435	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		
夏季研修講座（12） （道徳初級編） ※初任研と合同	申込不要	初任者研修受講者	対面 (アミュゼ柏)	8/4（月） 13:30～15:30	B5 B6	特別な教科『道徳』の実際 初級編 麗澤大学 准教授 江島 順一
	3831426	対面受講希望者				
	3831436	動画受講希望者	動画視聴	8/18（月） ～8/29（金）		

※ 講師及び主題については、予告なく変更する場合があります。

4 申込・承認

研修履歴システム Plant（6月）

承認機関：学校・柏市教育委員会

5 受講方法

（1）対面集合研修（奨励）

- 対面集合研修での受講希望者は、研修履歴システム Plant（6月）で申し込む。
ただし、会場により定員が決まっている。

（2）動画視聴研修（原則校内で複数の教職員で対話を伴う）

- 動画視聴型研修での受講希望者は、研修履歴システム Plant（6月）で申し込む。
必ず指定期間に動画視聴し、Form にて感想箋を提出すること。

（3）受講指定等

- 初任者研修受講者：夏季研修講座(11)(12) ※申込不要
- 2年目研修受講者：夏季研修講座(10) ※申込不要
- 特別支援教育新任担当教員等研修受講者：夏季研修講座(3) ※申込不要
- 人権尊重教育研修受講者：夏季研修講座(9) ※申込不要
- 学警連担当者：夏季研修講座(8)の受講を推奨する。

※研修履歴システム Plant（6月）で申し込む 講座番号「3831422」

- LGBTQ 研修を過去未受講の者：夏季研修講座(10)を必ず受講する。（対面・動画は問わない）
- 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ受講者：夏季研修講座(5)(6)を優先受講できる。

動画視聴研修の流れ

- ① 研修履歴システム Plant（6月）で受講したい講座を申し込む。
- ② 申し込んだ研修講座の動画視聴開始日・期間を確認する。
- ③ 校内で複数の教職員で、対話を伴いながら同時視聴する。
 - ・視聴の仕方は後日通知する。
 - ・視聴場所は、原則勤務校とする。
- ④ 視聴後、Form で振り返りを回答する。（指定期間内に回答する）
※回答が遅れた場合は、管理職を通じて教育研究所へ連絡する。
- ⑤ Form の回答をもって研修を修了とする。

※申込なしでも、動画は年度末日まで視聴可能です。

校内研修・自己研鑽等にご活用ください。

6 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡するとともに、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 原則、公共交通機関をご利用ください。施設に駐車場のご用意はありません。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、改めて通知いたします。
また、**教育研究所ホームページの「お知らせ」**にも掲載します。
受講前に開催状況をご確認の上、ご参加ください。
- (4) その他不明な点は、教育研究所までお問い合わせください。

担当 教育研究所
電話 04-7191-7387

令和7年度（柏市）小中学校 夏季情報活用研修講座(1)～(10) 実施要項

1 目的

教職員のICTを活用した授業力向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校教職員で受講を希望するもの

3 内容（予定）

研修事業名		期日	時程	指標	主題・内容	講 師	会 場
夏季情報活用研修講座（1）	3830601	7/24 (木)	10:00 ～12:00	F17	eポータルを活用したDX推進！L-Gate研修 ①（初級編）	株式会社内田洋行研修担当	沼南庁舎 大会議室
夏季情報活用研修講座（2）	3830602		14:00 ～16:00	F17	eポータルを活用したDX推進！L-Gate研修 ②（活用・発展編）	柏市教育委員会 株式会社内田洋行研修担当	
夏季情報活用研修講座（3）	3830603	7/28 (月)	10:00 ～12:00	F17	ICTを活用した令和の学び方の実現！情報活用能力の育成と発揮①（情報の扱い方）	柏市教育委員会 教育専門アドバイザー 西田 光昭	沼南庁舎 大会議室
夏季情報活用研修講座（4）	3830604		14:00 ～16:00	F17	情報モラル教育の最前線！生成AIの課題とこれから		
夏季情報活用研修講座（5）	3830605	7/29 (火)	10:00 ～12:00	F17	子どもの探究心を育む！多様な学びに対応した単元開発ワークショップ	柏市立大津ヶ丘第一小学校 校長 佐和伸明	沼南庁舎 大会議室
夏季情報活用研修講座（6）	3830606		14:00 ～16:00	F17	変わる授業、変わる学び！ICT活用授業の成功事例とポイント <u>※(5)(6)セットでの受講をオススメしています。</u>		
夏季情報活用研修講座（7）	3830607	7/31 (木)	10:00 ～12:00	F17	場面に応じた使い分け！協働編集ツールの活用	柏市教育委員会 ITアドバイザー	沼南庁舎 大会議室
夏季情報活用研修講座（8）	3830608		14:00 ～16:00	F17	Google 管理職等学校リーダー向け研修	Google社 研修担当講師	
夏季情報活用研修講座（9）	3830609	8/1 (金)	10:00 ～12:00	F17	ICTを活用した令和の学び方の実現！情報活用能力の育成と発揮②（情報の収集～整理分析）	千葉大学助教 八木澤史子	沼南庁舎 大会議室
夏季情報活用研修講座（10）	3830610		14:00 ～16:00	F17	ICTを活用した令和の学び方の実現！情報活用能力の育成と発揮③（まとめ・表現） <u>※(9)(10)セットでの受講をオススメしています。</u>		

※(5)(6)または(9)(10)の講座は、セットでの受講をオススメしております。

※ 講師及び主題、日時については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（6月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務メール等で通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課

電話 04-7191-7369

講座番号	3830211～3830212
------	-----------------

令和7年度（柏市）小学校 外国語指導スキルアップ研修 実施要項

1 目的

外国語授業について理解を深め、指導技術の向上を目指す。

2 対象

柏市立小学校 外国語授業を担当している教職員、興味のある教職員

3 内容

回	講座番号	期日		指標	主題・内容	講師	会場
1	3830211	7/29 (火)	9:00 ～12:00	B6	詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 501会議室
2	3830212	7/29 (火)	13:30 ～16:30	B6	詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 501会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（6月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

講座番号	3830413 ~ 3830414
------	-------------------

令和7年度（柏市）中学校 外国語指導スキルアップ研修 実施要項

1 目 的

外国語授業について理解を深め、指導技術の向上を目指す。

2 対 象

柏市立中学校 外国語授業を担当している教職員、興味のある教職員

3 内 容

回	講座番号	期 日		指 標	主 题・内 容	講 師	会 場
1	3830413	8/1 (金)	9:00 ~12:00	B6	詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 501会議室
2	3830414	8/1 (金)	13:30 ~16:30	B6	詳細は追って連絡いたします。	未定	沼南庁舎 501会議室

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（6月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他の

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
駐車する場合は、旧沼南近隣センター裏の駐車場をご利用ください。
- (3) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担 当 指導課
電 話 04-7191-7369

VI 希望研修（自己研鑽）

専門性の向上や教育的実践力の向上を図るための自己研鑽の機会を提供する。

Plantを使用できない場合は、学校宛Formの返信にて申し込みを行う。

事業番号	講座名	内 容	担当
3831439	リーダーセミナー	<ul style="list-style-type: none">・これからの時代に求められるリーダーシップや地域教育の充実に資する支援および情報交換・新しい時代の教育で求められている課題を設定する力や学校の内発的な改善を促す力を高める	教育研究所
3830640 3830641	体力向上・部活動指導研修	<ul style="list-style-type: none">・授業参観、研究協議会・体力向上に向けた取組・部活動の指導における取組	指導課

令和7年度（柏市）リーダーセミナー 実施要項

1 目的

これから時代に求められるリーダーシップや地域教育の充実に資する支援および情報交換の場として、学校の管理職等を対象とした「リーダーセミナー」を開催します。

本セミナーの特徴は、従来の知識伝達型の研修とは異なり、課題解決スキルの獲得を目指しているところにあります。兵庫教育大学大学院が4年間かけて研究開発したものをもとに構成しています。

新しい時代の教育で求められている課題を設定する力や、学校の内発的な改善を促す力を高めることを目標としています。

2 対象

（これからの柏市の教育をさらに向上させていこうという志のある）

柏市立小中学校 校長、副校長、教頭、中堅教員、事務職員及び指導主事等

定員 希望者12名

3 内容

回	期日	指標	主題・内容	講師	会場
1	7/25 (金)	9:00～ 12:00 D11 D12 D13	オリエンテーション 講義・演習 「情報収集」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	ラコルタ柏 集会室
		13:00～ 16:30 D11 D12 D13	講義・演習 「分析」		
2	8/29 (金)	9:00～ 12:00 D11 D12 D13	講義・演習 「構想」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	沼南庁舎 大会議室
		13:00～ 16:30 D11 D12 D13	講義・演習 「企画」		
3	12/25 (木)	9:00～ 12:00 D11 D12 D13	講義・演習 「実行」	東洋大学 准教授 葛西 耕介	沼南庁舎 大会議室
		13:00～ 16:30 D11 D12 D13	講義・演習 「判断」 閉会挨拶		

※講師及び講師の所属等は変更の可能性があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システム（4月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) 新任教頭研修と合同で実施する。新任教頭はこちらの研修も併せてPlantで申しこむこと。
- (2) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (3) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (4) 急な受講方法の変更等がある場合は、デジタル校務等を通じて連絡いたします。
- (5) その他不明な点は、下の担当までお問い合わせください。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

講座番号	3830640
	3830641

令和7年度（柏市）小中学校 **体力向上研修（兼 部活動指導研修会） 実施要項**

1 目的

体育的行事や部活動、学習指導要領に基づく体育の授業づくり等に関して、校内の中心的な役割を果たす上で必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象

柏市立小中学校教職員で受講を希望する者

3 内容

講座番号	期日		指標	主題・内容	講師	会場	
3830640	8/27 (水)		10:00 ~12:00	B6 D14	・実技研修会 (部活動指導者研修会を兼ねる)	大学関係者 小中体連柏支部 柏市教育委員会	市立柏中学校
3830641	11月中		13:30 ~16:30	B5 B6	授業参観・研究協議会 「『学び』のある体育」のあり方 ～小中学校の連携を見通した系統的な指導～ *日程・会場ともに小中合同	大学関係者	市立中学校

※ 講師及び主題については、変更する場合があります。

4 申込・承認

- (1) 研修履歴システムPlant（6月）
- (2) 承認機関：学校、柏市教育委員会

5 その他

- (1) やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当まで連絡し、欠席届の提出をお願いします。
- (2) 駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (3) 内容等の詳細については、後日通知いたします。
- (4) その他不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当 指導課
電話 04-7191-7369

VII 各研修様式一覧

初任者研修 提出書類様式一覧

様式No.	名称	提出期限	作成者	提出方法
初任研様式 1	[B研修] 年間指導計画書	5月13日(火)	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式 2	校内研修体制報告書	5月13日(火)	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式 3	授業実践研修① 「同校種授業参観」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切2月13日(金)】	受講者	【Plant】初任研 「同校種授業参観」フォルダ
初任研様式 4	授業実践研修② 「授業の展開(道徳)」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切2月13日(金)】	受講者	【Plant】初任研 「授業の展開(道徳)」フォルダ
初任研様式 5	年間指導報告書	3月3日(火)	校長	デジタル校務 メール 「●研修管理（教育研究所）」宛
初任研様式 6	「同校種授業参観」依頼書	必要に応じて 使用	校長	研修先所属長 宛
共通様式 2	授業実践研修③ 「授業の展開(訪問)」指導略案	訪問日5日前まで (休日を除く)	受講者	【Plant】初任研 「授業の展開(訪問)」フォルダ

※ 様式1・5はひとつの同じExcelファイルで、様式ごとにワークシートが分かれている。

ファイル内で入力内容が連動されるため、分離等はせず使用・提出すること。

2年目研修 提出書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
2年目研_様式 1	研修計画書	5月12日(月)～ 6月13日(金)	受講者	Plant 2年目研 「研修計画書」フォルダ
2年目研_様式 2	研修報告書	2月2日(月)～ 2月13日(金)		Plant 2年目研 「研修報告書」フォルダ
2年目研_様式 3	授業実践研修① 「教科授業の展開(校内)」報告書	実施後2週間以内 【最終締切2月13日(金)】		Plant 2年目研 「授業の展開(校内)」フォルダ
2年目研_様式 4	授業実践研修② 「他校種交流研修」実施依頼書	実施日1か月前まで		研修先所属長 宛
2年目研_様式 5	授業実践研修② 「他校種交流研修」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切2月13日(金)】		Plant 2年目研 「他校種交流研修」フォルダ

3年目研修 提出書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
3年目研_ 様式 1	アクションプランシート	5月27日（火）～ 6月20日（金）	受講者	• Plant 3年目研 「アクションプラン」フォルダ • Classroom ※ 2カ所に提出
3年目研_ 様式 2	アクションプラン ブラッシュアップシート	8月6日（水）～ 8月29日（金）		Classroom
3年目研_ 様式 3	授業実践研修 報告書 「授業の展開(校内)」	実施後2週間以内 【最終締切2月13日（金）】		Plant 3年目研 「授業の展開」フォルダ
3年目研_ 様式 4	アクションプラン実践報告書	1月8日（木）		Plant 3年目研 「アクションプラン実践報告書」フォルダ

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 提出書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
中堅研_ 様式 1	研修計画書	5月13日（火）～ 6月13日（金）	受講者	Plant 中堅研 「研修計画書」フォルダ
中堅研_ 様式 2	アクションプランシート	5月13日（火）～ 6月13日（金）		Classroom
中堅研_ 様式 3	アクションプラン ブラッシュアップシート	8月6日（水）～ 8月29日（金）		Classroom
中堅研_ 様式 4	アクションプラン実践報告書	1月8日（木）		Plant 中堅研 「アクションプラン実践報告書」フォルダ
中堅研_ 様式 5	研修報告書	1月27日（火）～ 2月13日（金）		Plant 中堅研 「研修報告書」フォルダ

中堅教諭等資質向上研修 plus および 専門研修

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
中堅研 plus_ 様式 1	中堅教諭等資質向上研修 plus 研修報告書	9月12日（金）	受講者	Plant 中堅研 plus_ 「研修報告書」 フォルダ
専門研_ 様式 1	専門研修 研修報告書	9月12日（金）	受講者	Plant 専門研_ 「研修報告書」 フォルダ

特別支援教育新任担当教員等研修 提出書類様式一覧

名称	提出期限	様式 No.	提出先
特別支援教育新任担当教員等研修 「授業実践研修報告書」	実施後 2 週間以内 (最終報告日 2月 25 日 (水))	新担研 様式 1	Plant 新担研 「授業実践研修報告書」フォルダ
教育実践発表会資料 「私の教育実践」	1月 28 日 (水)	新担研 様式 2	Plant 新担研 「私の教育実践」フォルダ
研修受講者の欠席について (報告)	—	欠席届 <small>様式のダウンロード 方法は P.15 参照</small>	児童生徒課長

VIII 共通様式一覧

下記の様式について、教育研究所 HP 内「教職員研修—研修会様式」に格納されているため、
ダウンロードし使用すること。

共通様式

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
共通様式 1	欠席報告	—	校長	電話連絡の上、担当宛メール
共通様式 2	学習指導略案	—	受講者	各研修要項を確認の上、提出
共通様式 3	研修受講年度の変更について	—	校長	電話連絡の上、担当宛メール

共通様式1

〇〇〇第〇〇〇号

令和 年 月 日

様

学校名 柏市立
校長名

研修受講者の欠席について（報告）

このことについて、下記のとおり報告します。

記

1 研修者 職名
氏名

2 講 座 事業番号
講座名

3 期 日 令和 年 月 日

4 欠席事由

5 備 考

※ 研修担当者と相談の上、デジタル校務メールにて担当宛に提出

※ 代替受講をする場合は、備考に研修日と講座名を記入する。

学習指導略案

柏市立

学校 教科

年 授業者

1 単元名

題材名

2 単元の目標

3 単元計画／評価計画

時配	主な学習内容	評価		
		知・技	思・判・表	態

4 本時の指導 (/)

(1) 本時の目標

--

(2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考

必要に応じて枠を広げて記入してください。

共通様式3

〇〇〇第〇〇号
令和 年 月 日

教育研究所長 様

学校名 柏市立
校長名

研修受講年度の変更について（依頼）

のことについて、下記のとおり依頼します。

記

- 1 研修者 職名
氏名
- 2 講 座 講座番号
講座名
- 3 変更予定年度 令和〇〇年度から令和〇〇年度へ
- 4 変更事由
- 5 備考

- ※ 事前に教育研究所研修担当に相談の上、デジタル校務メールにて担当宛に提出
- ※ 受講年度を変更した教職員は、研修履歴システムの「備考・連絡事項等」に、その旨を必ず入力すること。

令和7年度 柏市小中学校教職員研修事業の手引

発行日 令和7年3月

編 集 教育研究所

発 行 柏市教育委員会

〒277-8503

千葉県柏市大島田48番地1

TEL 04-7191-7387